

**2020年度
SSI 履修の手引き**

法政大学

My時間割表(事前記入用)

登録する科目が決定したら、今年度1年間の時間割を記入し、Web履修登録時に参照しながら入力しましょう。
年間科目、曜日・時限指定のない「集中・その他」の授業も忘れずに記入しましょう。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 時限	年間 又は 春学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
	秋学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
2 時限	年間 又は 春学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
	秋学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
3 時限	年間 又は 春学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
	秋学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
4 時限	年間 又は 春学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
	秋学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
5 時限	年間 又は 春学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
	秋学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
6 時限	年間 又は 春学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
	秋学期	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード ----- 教室名 (教室)	-----	-----	-----	-----	-----
集中・その他		科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード -----	-----	科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード -----	-----	-----	-----
		科目名 ----- 担当者 ----- 授業コード -----	-----	-----	-----	-----	-----

2020 (令和2) 年度 学 年 暦 (市ヶ谷・多摩・小金井地区)

学務部学務課

	市ヶ谷地区	多摩地区	小金井地区
学 年 開 始	4月1日(水)		
入 学 式	4月3日(金)		
春学期授業期間	4月7日(火)～7月17日(金)		
春 学 期 補 講 日	授業期間内補講日：5月 9日(土), 5月16日(土), 5月23日(土), 6月27日(土), 7月 4日(土), 7月11日(土) <small>(授業期間内補講日は, 原則として, 市ヶ谷地区については5時限目以降, 多摩地区については4時限目以降を補講時限とする)</small>		
春学期試験期間	7月18日(土)～7月28日(火) ※7月24日(金)除く		
夏季休業期間	7月29日(水)～9月17日(木)		
夏 季 集 中 特 別 授 業 期 間	サマーセッション：7月29日(水)～8月4日(火) オータムセッション：9月11日(金)～9月17日(木)		
9月卒業学位記交付式 秋 学 期 入 学 式	9月12日(土)		
秋学期授業期間 (補講日含む)	9月18日(金)～12月24日(木) 1月8日(金)～1月20日(水)		
秋 学 期 補 講 日	授業期間内補講日： 10月17日(土), 10月24日(土), 10月31日(土) 補講日： 11月 4日(水)1～2限, 1月15日(金)1～2限, 1月19日(火), 20日(水)	授業期間内補講日： 10月24日(土), 11月 7日(土) 補講日： 10月16日(金)1～2限, 11月5日(木), 1月15日(金), 1月16日(土), 1月19日(火), 1月20日(水)	授業期間内補講日： 10月17日(土), 10月24日(土), 10月31日(土) 補講日： 1月15日(金), 1月16日(土), 1月19日(火), 1月20日(水)
	<small>(授業期間内補講日は, 原則として, 市ヶ谷地区については5時限目以降, 多摩地区については4時限目以降を補講時限とする)</small>		
冬季休業期間	12月25日(金)～1月7日(木)		
秋学期試験期間	1月21日(木)～2月2日(火)		
春季休業期間	2月3日(水)～3月31日(水)		
春 季 集 中 特 別 授 業 期 間	スプリングセッション：3月9日(火)～3月22日(月)		
学 位 授 与 式	3月24日(水)		
学 年 終 了	3月31日(水)		

〔市ヶ谷・多摩・小金井〕

- ・4月10日(金)創立記念日は5月1日(金)に振替
- ・4月30日(木)はレクリエーションデーにより休講
- ・5月1日(金)は創立記念日の振替により休講
- ・5月4日(月)みどりの日, 5月6日(水)憲法記念日の振替休日, 7月23日(木)海の日, 9月21日(月)敬老の日, 9月22日(火)秋分の日は授業等実施
- ・4月29日(水)昭和の日, 5月5日(火)こどもの日, 7月24日(金)スポーツの日, 11月3日(火)文化の日, 11月23日(月)勤労感謝の日, 1月11日(月)成人の日は授業を実施しない
- ・10月16日(金)は法政祭(多摩地区)の準備日により3時限以降を休講, 10月17日(土)は本祭開催により休講(多摩のみ)
- ・11月11日(水)は多摩スポーツフェスティバルのため休講(多摩のみ)
- ・1月15日(金)は大学入学共通テスト(旧大学入試センター試験)準備により3時限以降を休講, 1月16日(土)は大学入学共通テスト(旧大学入試センター試験)実施により休講(市ヶ谷のみ)
- ・春季集中特別授業期間中の3月20日(土)春分の日は、特別授業実施日とする。

	市ヶ谷地区	多摩地区	小金井地区
春学期授業期間	15週3日		
秋学期授業期間	15週6日		
春学期試験期間	1週2日		
秋学期試験期間	1週6日		
夏季集中特別授業期間	2週0日		
春季集中特別授業期間	2週0日		
合 計	38週1日		

※左表の授業期間は
ガイダンス期間・補講期間を含む

2020 (令和2) 年度 学 年 暦 (デザイン工学部)

	デザイン工学部
学 年 開 始	4月1日(水)
入 学 式	4月3日(金)
春学期前半授業期間	4月7日(火)～5月29日(金)
春学期前半補講日	授業期間内補講日：5月9日(土) 5月16日(土) 5月23日(土)
春学期後半授業期間	5月30日(土)～7月17日(金)
春学期後半補講日	授業期間内補講日：6月27日(土) 7月4日(土) 7月11日(土)
春学期試験期間	7月18日(土)～7月31日(金) ※7月24日(金)除く
夏季休業期間	8月1日(土)～9月17日(木)
夏季集中特別授業期間	サマーセッション：8月1日(土)～8月7日(金) オータムセッション：9月11日(金)～9月17日(木)
9月卒業学位記交付式 秋学期入学式	9月12日(土)
秋学期前半授業期間	9月18日(金)～11月12日(木) 11月9日(月)を除く
秋学期前半補講日	授業期間内補講日：10月10日(土), 10月17日(土), 10月24日(土)
秋学期後半授業期間 (補講日含む)	11月9日(月), 11月13日(金)～12月24日(木) 1月8日(金)～1月20日(水)
秋学期後半補講日	授業期間内補講日：12月12日(土), 12月19日(土) 補講日：1月19日(火), 20日(水)
冬季休業期間	12月25日(金)～1月7日(木)
秋学期試験期間	1月21日(木)～2月2日(火)
春季休業期間	2月3日(水)～3月31日(水)
春季集中特別授業期間	スプリングセッション：3月9日(火)～3月22日(月)
学位授与式	3月24日(水)
学 年 終 了	3月31日(水)

[デザイン工学部]

- ・4月10日(金)創立記念日は5月1日(金)に振替
- ・4月30日(木)はレクリエーションデーにより休講
- ・5月1日(金)は創立記念日の振替により休講
- ・5月2日(土)は授業実施(※学生用に公開する際には表記しない)
- ・5月4日(月)みどりの日, 5月6日(水)憲法記念日の振替休日, 7月23日(木)海の日, 9月21日(月)敬老の日, 9月22日(火)秋分の日は授業等実施
- ・4月29日(水)昭和の日, 5月5日(火)こどもの日, 7月24日(金)スポーツの日, 11月3日(火)文化の日, 11月23日(月)勤労感謝の日, 1月11日(月)成人の日は授業を実施しない
- ・1月16日(土)は大学入学共通テスト(旧大学入試センター試験)実施により休講(市ヶ谷のみ)
- ・春季集中特別授業期間中の3月20日(土)春分の日は、特別授業実施日とする。

	授業期間	試験期間	合計
春学期前半	8週3日		8週3日
春学期後半	7週0日	2週0日	9週0日
秋学期前半	8週0日		8週0日
秋学期後半	7週2日	1週6日	9週1日
夏季集中特別授業期間	2週0日		2週0日
春季集中特別授業期間	2週0日		2週0日
合 計	34週5日	3週6日	38週4日

※左表の授業期間は
ガイダンス期間・補講期間を含む

＝目 次＝

2020 年度 SSI 科目履修の手引き	1
I. 概要	
1. はじめに	2
2. SSI 履修の手引きについて	2
II. 履修	
1. 卒業要件と進級要件	3
2. 学部ごとの特記事項	3
3. SSI 科目	3
4. 外国語の履修	5
5. 体育科目の履修	12
6. 履修上限単位	13
7. 履修登録の流れ	13
III. 授業・試験	
1. 掲示板	14
2. 授業・試験について	14
IV. その他	
1. スポーツ指導者資格	15
各学部卒業・進級要件 (SSI)	17
法学部 法律学科	18
法学部 政治学科	20
法学部 国際政治学科	22
文学部 哲学科	25
文学部 日本文学科	29
文学部 英文学科	33
文学部 史学科	37
文学部 地理学科	41
文学部 心理学科	47
経済学部 経済学科・現代ビジネス学科	53
社会学部	54
経営学部	64
国際文化学部	68
人間環境学部	72
現代福祉学部	76
キャリアデザイン学部	82
デザイン工学部 システムデザイン学科	85
SSI 開講科目一覧	87
SSI 主催科目担当 専任教員一覧	97

HOSEI

UNIVERSITY

2020年度履修の手引き

SSI

スポーツ・サイエンス・インスティテュート

<SSIに関する問い合わせ>

問い合わせ内容	問い合わせ先
SSI 主催科目に関する質問全般 学部主催 SSI 専門科目 科目履修登録手続き・成績関係・進級、 卒業関係・教職関係・各種証明書発行、 (公) 日本スポーツ協会指導者資格関係	所属学部窓口
体育会活動全般	各保健体育センター窓口

I 概要

1. はじめに

SSI は、「スポーツに優れた者の特別推薦入学試験」の入学者で SSI 希望の方を対象としたスポーツ科学の専門講座で、これからのスポーツ文化の担い手を育てることを目的とした学部横断型のコースです。総合的な知識の修得とともに、文化と科学としてのスポーツの理解を図ります。

皆さんは入学した学部にて在籍します。各自卒業までに所属学部の基礎(教養)科目・専門科目と並行して SSI 科目を履修します。スポーツ能力の向上を目指しながら、将来へ向けて幅広い人生設計が可能になります。

スポーツ分野における様々な科目を設置しており、優れたスポーツ選手や指導者を育成すると同時に、スポーツ振興やスポーツビジネス分野においても活躍できる人材を育成することを目標としています。

<2020 年度 SSI 参加学部(新入生募集学部)>

- 法学部全学科
- 文学部全学科
- 経済学部経済学科、現代ビジネス学科
- 社会学部全学科
- 経営学部全学科
- 国際文化学部国際文化学科
- 人間環境学部人間環境学科
- 現代福祉学部全学科
- キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科
- デザイン工学部システムデザイン学科

2. SSI 履修の手引きについて

この履修の手引きには、SSI で学ぶ学生がこれから学習を進めていく上で SSI の必要事項をまとめたものです。

履修の手引きには SSI の卒業要件・進級要件をはじめ、SSI 科目・SSI 生への外国語や体育科目の履修説明、SSI 科目の試験や SSI 授業の休講・教室変更などの事務連絡方法等が掲載されています。

なお、この冊子には履修登録、証明書発行申請、学籍に関する手続きや所属学部の基礎(教養)科目・専門科目の内容については触れておりません。

必ず、所属学部の履修の手引きやWEBシラバスを参照し、内容を確認してください。

Ⅱ 履 修

1. 卒業要件と進級要件

卒業するためには、所属学部の卒業要件(SSI)を満たすように履修しなければなりません。また、進級するためには、各年次の進級要件を満たさなければなりません。

「各学部卒業・進級要件(SSI)」以降の頁にて、所属学部の卒業要件と進級要件を必ず確認してください(入学年度によって異なる学部あり)。

なお、入学手続き時にSSIを希望した後、卒業時までSSI生の卒業要件と進級要件が適用されます。いかなる理由(例えば所属の体育会を退部)でも途中の変更はできません。

2. 学部ごとの特記事項

SSI生は前頁に記載の学部学科に所属していますが、学部学科によって条件があります。

<社会学部>

【2018年度以降入学者】2017年度以前入学者とカリキュラムが大きく異なりますので、注意してください。カリキュラムの詳細は、入学時に配布した「社会学部履修要綱」で確認してください。

<国際文化学部国際文化学科>

SA(スタディ・アブロード)の参加可否については、入学手続き時に選択した外国語パターンによって異なります。入学手続き時に選択した外国語パターンは、変更できません。SAに参加する必要がある場合は、国際文化学部担当に問い合わせください。なお、SAに参加する学生は、必ずSAガイダンスに出席してください。

<デザイン工学部システムデザイン学科>

【2019年度以降入学者】2018年度以前入学者とカリキュラムが大きく異なりますので注意してください。カリキュラムの詳細は「デザイン工学部履修の手引き」で確認してください。

3. SSI科目

SSI科目は、SSI基礎科目とSSI専門科目で構成されており、卒業までに44単位以上を修得する必要があります。

(1)SSI基礎科目(7科目)

- ①14単位必修です。卒業までにすべて修得してください。
- ②市ヶ谷と多摩の両キャンパスで開講します。どちらか一方のキャンパスで履修してください。履修登録していないキャンパスでは受講することはできません。
- ③時間割や授業内容は、SSI専用の時間割表やWEBシラバスを参照してください。

(2)SSI専門科目

SSI専門科目には「SSIが主催する科目」と「学部が主催する科目」があります。履修する上での注意事項は以下の通りです。

<SSI主催科目・学部主催科目に共通すること>

- ①SSI主催科目・学部主催科目を合わせて卒業までに30単位以上修得してください。
- ②他キャンパスで開講のSSI主催科目や他学部主催科目を履修することが可能です。

③SSI のWEBシラバスには SSI 主催科目のみが掲載されていますが、SSI 専門科目(学部主催科目)は「主催学部のWEBシラバス」で確認してください。

④時間割や休講、教室変更、試験などの授業に関する情報は法政ポータルサイト(Hoppii)の案内を参照してください。

<学部主催科目>

所属の学部・学科が主催する SSI 専門科目を履修する場合、学部専門科目に同名科目が存在するため、以下のような扱いになります(履修登録時にはご注意ください)。

<所属学部主催の SSI 科目を履修した際の単位認定先>

自身の所属学部・学科		科目の 主催学部・学科	単位の認定先		説明
			SSI 専門	学部・学科専門	
法	法律	法学部 法律学科	○		政治学科・国際政治学科主催科目のため、学部・学科専門科目ではなく、SSI 専門科目の区分系列として履修します。
	政治 国際政治	法学部 政治学科 国際政治学科		○	SSI 専門科目ではなく、学部・学科専門科目の区分系列として履修します。
文	心理	文学部 心理学科		○	SSI 専門科目ではなく、学部・学科専門科目の区分系列として履修します。
	心理以外	文心理学科 以外	○		心理学科主催科目のため、学部・学科専門科目ではなく、SSI 専門科目の区分系列として履修します。
経営	全学科	経営学部		○	SSI 専門科目ではなく、学部・学科専門科目の区分系列として履修します。
国際文化		国際文化		○	
人間環境		人間環境		○	
キャリアデザイン		キャリアデザイン		○	
経済	経済 現代ビジネス	経済学部		○	
社会	全学科	社会	「社会学部履修要綱」を参照ください。		
現代 福祉	全学科	現代福祉	同名科目の科目群により異なります。 ・総合教育科目＝現代福祉学部の総合教育科目として履修します。 ・学部専門科目＝SSI 専門科目として履修します。		
デザイン工		デザイン工	所属学部同名科目は存在しません。		

4. 外国語の履修

外国語の必要単位数は所属学部や入学年度によって異なります。以下に記載されている自分の所属学部の内容をよく確認してください。受講にあたっては、所属学部の「履修の手引き」も参照し、所属学部の時間割から指定されたクラスの外国語授業を選んで履修してください。

なお、自分が選択した外国語以外はクラスが指定されていても受講する必要はありません。外国語の履修について不明な点がある場合は、所属学部窓口に問い合わせしてください。

(1) - 1 法（法律・政治学科）・文・経営学部

入学時に選択した1カ国語必修（4単位以上）

選択した言語	科目名	単位	配当年次
英語	English1 I / II English2 I / II	各 1	1
諸外国語	〇〇語 1 I / II 〇〇語 2 I / II	各 1	1

※ 上記の他に SSI 生用の外国語科目を履修することができます。詳細は、「(5) SSI 生用の外国語科目の履修について」（8～10頁）を参照してください。

(1) - 2 法学部（国際政治学科）

入学時に選択した1カ国語必修（4単位以上）

選択した言語	科目名	単位	配当年次
英語	Academic English I Academic English II	各 2	1
諸外国語	〇〇語(1) I / II 〇〇語(2) I / II	各 1	1

※ 上記の他に SSI 生用の外国語科目を履修することができます。詳細は、「(5) SSI 生用の外国語科目の履修について」（8～10頁）を参照してください。

ただし、英語を選択した場合、英語の必要単位数（4単位）を修得するにあたり、国際政治学科の SSI 生は、「入門英語（SSI） I / II（各 1 単位）」と「Academic English I / II（各 2 単位）」の単位数が異なりますので注意してください。

(2) 国際文化学部

入学時に選択したパターンに従い履修してください。

① パターン1：英語8単位以上

科目名	単位	配当年次
英語 1～6	各 1	1
英語 7、8	各 1	2

* SAに行く選択ができる。

② パターン2：諸外国語8単位以上

科目名	単位	配当年次
〇〇語 1～6	各 1	1
〇〇語 7、8	各 1	2

* SAに行かなければならない。

③ パターン3：英語4単位以上、諸外国語4単位以上

科目名	単位	配当年次
英語 1～4	各 1	1
〇〇語 1～4	各 1	1

* SAに行くことができない。

<以下の説明は、2016年度以前入学生のみが対象です。※2017年度以降入学生は対象ではありません。>

【諸外国語の履修について】

国際文化学部の SSI 生は、上記諸外国語科目の他に、ILAC 科目・市ヶ谷基礎科目 4 群選択科目（諸外国語）の授業を、必修科目に代えて履修することができます（代替制度）。履修登録時に代替する必修科目の科目名で登録をすることにより、4 群外国語の卒業所要単位に含めることができます。

4 群選択科目（諸外国語）の一覧や履修登録の方法については、国際文化学部の「履修の手引き」と「履修ガイド」を確認してください。

※ 上記の他に SSI 生用の外国語科目を履修することができます。詳細は、「(5) SSI 生用の外国語科目の履修について」（8～10頁）を参照してください。

(3) 人間環境学部

入学時に選択した1カ国語必修

①2012年度以降入学生：4単位以上

選択した言語	科目名	単位	配当年次
英語	English1-I/II	各1	1
	English2-I/II		
諸外国語	〇〇語1-I/II	各1	1
	〇〇語2-I/II		

②2011年度以前入学生：8単位以上

選択した言語	科目名	単位	配当年次
英語	英語1-I/II	各1	1
	英語2-I/II		
	英語3-I/II	各1	2
	英語4-I/II		
諸外国語	〇〇語1-I/II	各1	1
	〇〇語2-I/II		
	〇〇語3-I/II	各1	2
	〇〇語4-I/II		

※ 上記の他に SSI 生用の外国語科目を履修することができます。詳細は、「(5) SSI 生用の外国語科目の履修について」(8～10頁)を参照してください。

(4) キャリアデザイン学部

2012年度以降入学生

2012年度以降に入学した SSI 生は英語4単位以上が必修となります。

必修

● 英語の履修方法 (2012年度以降入学生)

次の1)ならびに2)の方法で、英語を4単位以上修得してください。

1)のみ、または2)のみ、もしくは1)と2)を組み合わせても、いずれの方法でも単位修得は可能です。

1) クラス分けされた授業を履修する

- ・ 4月初旬に実施するプレイスメントテストのスコアにより習熟度別に分けられたクラスにて、英語を履修します。
- ・ 教育職員免許状の取得をする場合は、このクラス授業の英語を2単位以上履修することが必要です。

科目名	単位	配当年次
英語1-I/II 英語2-I/II	各1	1

2) SSI生用の授業を履修する

- ・ SSI生限定の英語科目を履修して、英語必修単位に充当します。
- ・ 同名科目を次年度に連続して履修することが可能です。

科目名	単位	配当年次
入門英語 (SSI) I / II *	各 1	1~4

* 2016 年度以前入学生は「入門英語 I / II」の科目名で履修します。

- ※ 充当科目は、各種通知書・証明書等では、履修登録上の科目名で表記されます。
(例)「入門英語 (SSI) I」を履修し、「英語 2-I」に充当した場合
→各種通知書・証明書等では「入門英語 (SSI) I」と表記されます。

「入門英語 (SSI) I」、「入門英語 (SSI) II」は教職課程表に掲載されていない科目のため、教育職員免許状取得のためには、上記 1) のクラス授業の英語を 2 単位以上履修する必要があります。

希望者のみ (2012 年度以降入学生)

必修の英語科目に加えさらに英語科目を履修することが可能です。

- 必修の英語科目に加えさらに英語科目を履修する場合
英語の 4 群選択科目を履修することができます。修得した単位は、2017 年度以降入学生は ILAC 科目の卒業所要単位として、2016 年度以前入学生は市ヶ谷基礎科目の卒業所要単位として、計上されます。

(5) SSI 生用の外国語科目の履修について

法・文・経営・国際文化・人間環境学部の SSI 生は、SSI 生限定の外国語科目を履修することができます。

以下の科目を履修することによって外国語の必要単位を修得することができます (入学年度によって、修得できる科目が異なります)。

- ※ 受講者数の制限があるため、春学期初回授業に出席し担当教員から受講許可を得た後に履修登録してください。秋学期科目の受講許可も春学期初回授業に行いますので、秋学期科目のみの履修の場合であっても、必ず春学期初回授業に出席して受講許可を得てください。

法・文・経営・国際文化・人間環境学部の S S I 生が対象

①2017 年度以降入学生

※2016 年度以前入学生は、②を確認してください。

科目名	単位	定員	配当年次	連続	重複	摘要
入門英語 (SSI) I / II	各 1	48	1～	○	○	◆法(法律・政治学科)・文・経営学部 English1 I / II、English2 I / II ◆法学部(国際政治学科) Academic English I / II ◆国際文化学部 英語 1～8 ◆人間環境学部 English1- I / II、English2- I / II <u>上記必修科目に充当可</u>
入門ドイツ語 (SSI) I / II	各 1	30	1～	○	○	◆法(法律・政治学科)・文・経営学部 ドイツ語 1 I / II、ドイツ語 2 I / II ◆法学部(国際政治学科) ドイツ語(1) I / II、ドイツ語(2) I / II ◆国際文化学部 ドイツ語 1～6 ◆人間環境学部 ドイツ語 1- I / II～ドイツ語 2- I / II <u>上記必修科目に充当可</u>

<用語説明>

【連続】：前年度までに履修して、単位を修得した科目を今年度もう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同一名称の科目を複数履修すること。

【充当】：科目を限定せずに必修として必要な単位数を充足すること。
 充当科目は、各種証明書・通知書ではそのままの科目名で表記されます。

※入門英語 (SSI) I / II、入門ドイツ語 (SSI) I / II の修得単位は、必修外国語科目の単位として認められます。

※「入門英語 (SSI) I」「入門英語 (SSI) II」は教職課程表に掲載されていない科目です。教育職員免許状取得のためには、教職課程表に掲載されている科目を修得しないと免許状は取得できません。十分注意、確認してください。

※国際文化学部生で SA ドイツに参加する SSI 生が、入門ドイツ語 (SSI) I / II をドイツ語 1～6 に充当する場合は、SA ドイツ担当教員の許可が必要です。
 事前に SA ドイツ担当教員の許可を得てください。

法・文・経営・国際文化・人間環境学部の S S I 生が対象

②2016 年度以前入学生

※2017 年度以降入学生は、①を確認してください。

科目名	単位	定員	配当年次	連続	重複	摘要
入門英語 (SSI) I / II	各 1	48	1~4	○	○	<p>◆法(法律・政治学科)・文・経営学部 English1 I / II、English2 I / II</p> <p>◆法学部(国際政治学科) Academic English I / II</p> <p>◆国際文化学部 英語 1~8</p> <p>◆人間環境学部 English1- I / II、English2- I / II、 英語 1- I / II ~ 英語 4- I / II</p> <p>上記必修科目に充当可</p>
スポーツ・ドイツ語 I / II	各 1	30	1~3	○	○	<p>◆法(法律・政治学科)・文・経営学部 ドイツ語 1 I / II、ドイツ語 2 I / II</p> <p>◆法学部(国際政治学科) ドイツ語(1) I / II、ドイツ語(2) I / II</p> <p>◆国際文化学部 ドイツ語 1~6</p> <p>◆人間環境学部 ドイツ語 1- I / II ~ ドイツ語 4- I / II</p> <p>上記必修科目のいずれかに代替しなければならぬ</p>

※スポーツ・フランス語 I / II は 2017 年度をもって閉講しました。

<用語説明>

【連続】：前年度までに履修して、単位を修得した科目を今年度もう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同一名称の科目を複数履修すること。

【代替】：特定の科目の代わりとして履修すること。

必修科目の代替として履修した場合、代替された科目は、各種通知書・証明書等では、“○○語 3 I” のように表記されます。

(例)「スポーツ・ドイツ語 I」を履修し、「ドイツ語 1 I」に代替した場合

→各種通知書・証明書等では「ドイツ語 1 I」と表記されます。

【充当】：科目を限定せずに必修として必要な単位数を充足すること。

充当科目は、各種証明書・通知書ではそのままの科目名で表記されます。

(例)「入門英語 (SSI) I」を履修し、「English1 I」に充当した場合

→各種通知書・証明書等では「入門英語 (SSI) I」と表記されます。

ただし、教育職員免許状取得希望者は「入門英語 (SSI) I」「入門英語 (SSI) II」ではなく「English1 I / II」「English2 I / II」を履修してください。「入門英語 (SSI) I」「入門英語 (SSI) II」は教職課程表に掲載されていない科目です。教育職員免許状取得のためには、教職課程表に掲載されている科目を修得しないと免許状は取得できません。 十分注意してください。

※国際文化学部生で SA ドイツに参加する SSI 生が、スポーツ・ドイツ語 I / II をドイツ語 1~6 に充当する場合は、SA ドイツ担当教員の許可が必要です。

事前に SA ドイツ担当教員の許可を得てください。

(6) 経済学部

【2015年度以前入学生】英語 8 単位必修

科目名	単位	配当年次
英語(a)/(b)	各 2	1
英語(c) A/B、(d) A/B	各 1	2

【2016年度以降入学生】英語 6 単位必修

科目名	単位	配当年次
Reading and Interaction A/B	各 1	1
Listening and Presentation A/B	各 1	1
Writing and Interaction A/B	各 1	2

(7) 社会学部

「社会学部履修の手引き」を参照してください。

(8) 現代福祉学部

対象	科目名	単位	配当年次
英語選択学生	英語 1～5	各 1	1
	英語 6～9	各 1	2
	英語 10	1	3
中国語選択学生	中国語 1 A/B～2 A/B	各 2	1
	中国語 3 A/B～5 A/B	各 2	2

※英語選択者は、英語 1～10のうち 8 単位を任意に修得してください。

※中国語選択者は中国語 1 A/B～5 A/Bのうち、同じ数字の科目を A と B のセットで受講し、8 単位を任意に修得してください。

(9) デザイン工学部

英語 4 単位必修

科目名	単位	配当年次
英語 1～4	各 2	1

※英語 1～4のうち任意の 2 科目 4 単位を修得してください。

(10) 教職課程履修希望者への注意事項

所属学部や希望する免許状により必要となる外国語科目が異なります。該当する課程表をよく確認し、計画的に履修するよう注意してください。

5. 体育科目の履修

(1) 単位の修得

SSI 生も体育科目（スポーツ総合演習）の履修は必修（デザイン工学部を除く）となっていますが、体育会部員は原則として在学中に体育会活動を続けることを条件に体育実技の単位を修得することができます。ただし、必要な履修登録手続きを取らなかった場合や退部した場合は、この措置は適用されません。別途、履修登録を行い、単位を修得する必要がありますので、注意してください。

以下の説明は、**2017年度以降入学生のみ**、参照してください。

本枠内の説明は、2017年度以降入学生のみ、参照してください。

必修の「スポーツ総合演習」に加えて、選択科目の「スポーツ総合演習 S」を履修可能ですが、「スポーツ総合演習 S」の修得単位は、必修の「スポーツ総合演習」の単位としては認められませんので、注意してください。

(2) 履修登録について

<法・文・経営・国際文化・人間環境・キャリアデザイン学部>

所定の申請用紙での申請手続きが必要となりますので、履修登録期間内に所属学部窓口にて手続きしてください。

履修登録期間内に手続きをしなかった場合は、年間を通して体育会活動を行っていても単位は修得できませんので、必ず手続きをしてください。

なお、経済・社会・現代福祉・デザイン工学部については、所属の学部にお問い合わせください。

6. 履修上限単位

履修登録は、各学部で登録可能な上限単位数（履修登録が可能な単位数）が決められています。必ず各所属学部の「履修の手引き」等で確認の上、不明な点は各所属学部窓口へ相談してください。

7. 履修登録の流れ

本学は半期ごとのセメスター制(デザイン工学部はクォーター制)をとっています(科目によっては通年科目もあります)。

履修登録のルールは各学部で異なります。所属学部の指示に従って登録期間や登録時期に遅れないよう手続きを行ってください。

My時間割表(表紙裏に掲載)を作成し、時間割は以下のような手順で考えましょう。

① 外国語科目・学部必修科目・体育(各所属体育会)を入れる

はじめに、履修しなければならない上記の科目を時間割表に入れてください。

SSI 基礎科目と曜日・時限が重なった場合には上記科目の履修を優先してください。

② SSI 基礎科目・ILAC科目(市ヶ谷)・基礎(教養)科目(デザイン工学部、多摩)・SSI および学部専門科目を入れる

次に SSI 基礎科目を時間割表に入れてください。また、ILAC科目や専門科目は所属学部の履修の手引きやWEBシラバスを見ながら、SSI 専門科目は SSI のWEBシラバスを見ながら自分自身の興味・関心にあわせて入れてください。なお、各科目には配当年次が決まっていますので注意してください。

③ 履修登録を行う

登録方法と期間は学部によって異なりますので、所属学部の案内 (WEB サイト・ガイダンス等)に従ってください。

④ 履修登録の確認をする

登録の確認方法は学部によって異なりますので、所属学部の案内 (WEB サイト・ガイダンス等)に従ってください。

登録間違いがあった場合には、授業に出席していても単位が修得できませんので十分注意してください。

<履修登録の注意事項>

(1) SSI 生は卒業までに独自のカリキュラムを履修することになり、通常学生と卒業要件や必修科目が異なります。履修登録等で必要な進級条件や卒業条件を確認する場合、『SSI 履修の手引き』に掲載の「各学部卒業・進級要件(SSI)」(17 頁以降)が適用されます。
ご不明な点は必ず所属学部窓口へ問い合わせてください (登録や単位の確認について SSI では回答できません)。

(2) SSI のWEBシラバスには SSI 主催科目のみが掲載されていますが、SSI 専門科目(学部主催科目)は「主催学部のWEBシラバス」で確認してください。

Ⅲ

授業・試験

1. WEB掲示板

SSI 主催科目に関するの通知・連絡は原則として法政ポータルサイト (Hoppii) 内のWEB掲示板で案内しています。

授業や試験等に関わるお知らせは極めて重要ですので、必ずご確認ください。

【SSI 事務連絡・授業の休講・補講、試験の案内・教室変更】

- 市ヶ谷・・・法政ポータルサイト (Hoppii) 内 WEB 掲示板
- 多摩・・・法政ポータルサイト (Hoppii) 内 WEB 掲示板、多摩総合体育館掲示板

法政ポータルサイト (Hoppii)

URL: <https://hoppii.hosei.ac.jp>



2. 授業・試験について

SSI 主催授業は皆さんの練習、試合、遠征などの競技活動を考慮して平日 (月～木) の1時限～3時限で時間割を編成しています (但し、一部の科目は除く)。また、SSI 主催科目の評価は「授業内試験」、「レポート」、「平常点」などに基きます。予め公式試合等がわかっている場合、事前に最寄りの保健体育センターへ指定フォーマット「法政大学体育会 公式競技参加による欠席願 (指定) ※」を提出してください (内容によって許可されない場合もあります)。その後、「通常授業」「授業内試験」「レポートの提出日」に関して担当教員に申し出てください。また、「授業内試験」・「レポートの提出日」当日に病気などのやむを得ない事態により欠席した場合、各学部の履修の手引きに記載されている期日までに所属学部担当へ申し出てください。

SSI 主催科目はすべて遅刻や欠席に対し、厳しい対応をとっています。安易な気持ちで授業に臨まないように心掛けてください。

※【法政大学指定フォーマット】指定フォーマット以外は認められません。

「法政大学体育会 公式競技参加による欠席願 (指定)」⇒ 法政ポータルサイト (Hoppii) 内のWEB掲示板に掲載しています。

IV その他

1. スポーツ指導者資格

(公)日本スポーツ協会公認の「スポーツ指導者資格」を取得する場合、資格養成の講習や試験を受けて資格を得ることが必須条件となっていますが、本学 SSI では資格養成の講習・試験の免除が下記コースにおいて認定されています。卒業時に下記コースの申請条件を満たし、各学部窓口(ただし、多摩学部生のみ保健体育センター多摩体育課)で修了証明書発行の申請をすることで資格を取得することができます。

なお、この資格申請は SSI 生で卒業予定の 4 年生のみとなっており、卒業後は一切申請できません。本内容は 2021 年度以降、変更になる予定です。

(発行料金：2019 年度参考)

コース名称	申請条件	修了証明書発行料金 ※注 2
共通科目 I + II + III (講習・試験) ※注 1	SSI 基礎科目 7 科目の単位をすべて修得する。	11,000 円
テニスコーチ 1 バレーボールコーチ 1 (上記体育会所属者限定)	①基礎科目 7 科目の単位をすべて修得する。 ②該当するスポーツ実習科目を修得する。 ※注 3 ③検定試験(4 年次に受験)に合格する。 ※注 4	3,300 円

※注 1) この講習・試験の免除者はスポーツ指導の基礎を学ぶ資格である『スポーツ指導基礎資格(スポーツリーダー)』の資格を取得したことになります。現在、地域におけるスポーツグループやサークルなどでスポーツ指導にあたっている方や、これから指導者になろうと考えている方、体育指導員の方に必要な資格です。また、取得後は、競技別指導者資格やフィットネス系資格へステップアップすることも可能となっています。

※注 2) 申請方法や支払方法については 4 年生を対象に WEB 掲示板等でお知らせします。

※注 3) ◆テニスコーチ 1 の場合、実習授業は以下のようになります。

2017 年度以降入学者：「スポーツ実習(テニス)Ⅲ・Ⅳ」(2020 年度休講)

◆バレーボールコーチ 1 の場合、実習授業は以下のようになります。

2017 年度以降入学者：「スポーツ実習(バレーボール)Ⅲ・Ⅳ」(2020 年度開講)

※注 4) 実技検定試験料は、別途かかります。検定試験の前後にご案内します。

2. オフィスアワーの実施について

SSI ではオフィスアワーを実施し、教員が担当科目に関する学生の皆さんの質問や相談に応じています。オフィスアワーの設定日時、場所については以下の通りです。

《専任教員》

専任教員が所属する各学部の窓口にて、ご確認ください。

《兼任教員》

授業の開始前または終了後に教室で、質問・相談を受け付けます。

各学部卒業・進級要件（SS I）

SS Iカリキュラム表

法学部 法律学科 卒業要件 (SSI) (2017年度以降入学者)

区分・系列		単位規定		
I L A C 科 目	0群 (導入)	14 単位以上 ※注 1		24 単位以上
	1群 (人文分野)			
	2群 (社会分野)			
	3群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 2		
	4群 (外国語)			
5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3			
S S I 科 目	SSI 基礎科目	14 単位		44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上		
専 門 科 目	選択必修科目	憲法科目 4 単位以上 行政法科目 4 単位以上 民法科目 8 単位以上 商法科目 6 単位以上 民事訴訟法科目 2 単位以上 刑事法科目 4 単位以上 労働法科目 2 単位以上 国際関係法科目 2 単位以上	32 単位以上 ※32 単位を超えて修得した単位は「選択科目」として計算されます。	56 単位以上
	選択科目	16 単位以上		
	自由科目	※8 単位以上の履修は可能ですが、8 単位を超えた分は、専門科目の卒業所要単位の中には含まれません。		
ILAC 科目、SSI 科目、専門科目より自由に履修 ※注 4				8 単位以上
卒業所要単位合計				132 単位以上

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 I L A C 科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II で履修してください。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目は教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 4 I L A C 科目 (24 単位以上)、S S I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

法学部 法律学科 卒業要件 (SSI) (2009年度～2016年度入学者)

区分・系列		単位規定			
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上		24 単位以上	
	1群 (人文分野)				
	2群 (社会分野)				
	3群 (自然科学)				
	4群 (外国語)				4 単位以上 ※注 1
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 2			
SSI 科目	SSI 基礎科目	14 単位		44 単位以上	
	SSI 専門科目	30 単位以上			
専門科目	選択必修科目	憲法科目	4 単位以上	32 単位以上 ※32 単位を超えて修得した単位は「選択科目」として計算されます。	56 単位以上
		行政法科目	4 単位以上		
		民法科目	8 単位以上		
商法科目		6 単位以上			
民事訴訟法科目		2 単位以上			
刑事法科目		4 単位以上			
労働法科目		2 単位以上			
国際関係法科目	2 単位以上				
選択科目	16 単位以上				
自由科目	※8 単位以上の履修は可能ですが、8 単位を超えた分は、専門科目の卒業所要単位の中には含まれません。				
市ヶ谷基礎科目、SSI 科目、専門科目より自由に履修			※注 3	8 単位以上	
卒業所要単位合計			132 単位以上		

※注 1 基礎科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II で履修してください。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目は教職課程履修要綱で確認してください。

※注 2 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 3 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SSI 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

法学部 政治学科 卒業要件（SSI）（2017年度以降入学者）

区分・系列		単位規定		
I L A C 科 目	0群（導入）	14 単位以上 ※注 1		24 単位以上
	1群（人文分野）			
	2群（社会分野）			
	3群（自然科学）	4 単位以上 ※注 2		
	4群（外国語）			
	5群（保健体育）			
S S I 科 目	SSI 基礎科目	14 単位		44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上		
専 門 科 目	必修科目	政治学の基礎概念 I	4 単位	56 単位以上
	選択科目	32 単位以上		
	自由科目	※20 単位以上の履修は可能ですが、20 単位を超えた分は、専門科目の卒業所要単位の中には含まれません		
I L A C 科目、S S I 科目、専門科目より自由に履修 ※注 4				8 単位以上
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 I L A C 科目 4 群（外国語科目）は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II で履修してください。
ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目は教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習（2 単位）が必修です（スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください）。

※注 4 I L A C 科目（24 単位以上）、S S I 科目（44 単位以上）および専門科目（56 単位以上）の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

法学部 政治学科 卒業要件 (SS I) (2011年度～2016年度入学者)

区分・系列		単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上		24 単位以上
	1群 (人文分野)			
	2群 (社会分野)			
	3群 (自然科学)			
	4群 (外国語)			
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 2		
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位		44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上		
専門科目	必修科目	政治学の基礎概念 I	4 単位	56 単位以上
	選択科目	32 単位以上		
	自由科目	※20 単位以上の履修は可能ですが、20 単位を超えた分は、専門科目の卒業所要単位の中には含まれません		
市ヶ谷基礎科目、SS I 科目、専門科目より自由に履修 ※注 3				8 単位以上
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 基礎科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II で履修してください。

ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目は教職課程履修要綱で確認してください。

※注 2 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 3 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

法学部 国際政治学科 卒業要件 (SS I) (2017年度以降入学者)

区分・系列		単位規定	
I L A C 科 目	0群 (導入)	14 単位以上 ※注 1	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)		
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3	
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専 門 科 目	必修科目	HOP(Hosei Oxford Programme) 2 単位 (必修)	56 単位以上
	選択科目	34 単位以上 HOP以外の国際政治学科科目は選択科目として扱います。	
	自由科目	※20 単位以上の履修は可能ですが、20 単位を超えた分は、 専門科目の卒業所要単位の中には含まれません。	
I L A C 科目、SS I 科目、専門科目より自由に履修 ※注 4			8 単位以上
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 I L A C 科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は Academic English I および II、諸外国語は(1)~(2)の I および II で履修してください。
ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目は教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 4 I L A C 科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

法学部 国際政治学科 卒業要件 (SS I) (2016年度以前入学者)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)	4 単位以上 ※注 1	
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 2	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	必修科目	HOP(Hosei Oxford Programme) 2 単位 (必修)	56 単位以上
	選択科目	34 単位以上 HOP以外の国際政治学科科目は選択科目として扱います。	
	自由科目	※20 単位以上の履修は可能ですが、20 単位を超えた分は、専門科目の卒業所要単位の中には含まれません。	
市ヶ谷基礎科目、SS I 科目、専門科目より自由に履修 ※注 3			8 単位以上
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 基礎科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は Academic English I および II、諸外国語は(1)~(2)の I および II で履修してください。

ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目は教職課程履修要綱で確認してください。

※注 2 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 3 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

進級に関する規程（法学部）

2012年度以降入学者

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、基礎科目，SSI科目，専門教育科目を問わず20単位以上を修得しなければならない。

第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、次の単位を修得しなければならない。

（1）基礎科目※，SSI科目，専門教育科目を問わず，第2年次において年間4単位以上

（2）基礎科目※，SSI科目，専門教育科目を問わず，第2年次修了までに36単位以上

第3条 第3年次から第4年次に進級する者は，第3年次修了までに次の単位を修得しなければならない。

（1）基礎科目※のうち4群（外国語科目）及び5群（保健体育科目）の卒業所要単位

（2）前号の単位を含め，基礎科目，SSI科目，専門教育科目を問わず84単位以上

第4条 前条における不足単位数がある場合は，次により第3年次の当該年度末に再試験を受けることができる。

（1）基礎科目※と専門教育科目をあわせて2科目まで（実験・実習・実技・演習科目を除く。）

第5条 第4年次においては，4単位以上を修得しなければならない。また，第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

第6条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

※2017年度以降入学者は，ILAC科目という名称で履修します。

2017年度以降入学者

区分・系列		単位規定		
I L A C 科 目	0 群 (導入)	14 単位以上 ※注 1	24 単位以上	
	1 群 (人文分野)			
	2 群 (社会分野)			
	3 群 (自然科学)			
	4 群 (外国語)			
	5 群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3		
S S I 科 目	SS I 基礎科目		14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目		30 単位以上	
専 門 科 目	選択科目(必修 科目から選択科 目として読み替 え)	卒業論文	規定せず	56 単位以上
	選択必修科目 (必修科目か ら読み替え)	哲学概論 1 / 2 論理学概論 1 / 2 倫理学概論 1 / 2 西洋哲学史 I - 1 / I - 2 西洋哲学史 II - 1 / II - 2 基礎演習 1 / 2	12 単位以上	
	選択科目 (選択必修科目からの読み替え科目を 含みます)		規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)			
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 ILAC 科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I / II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

備考

1. ILAC 科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から履修してください。
2. 卒業論文 (8 単位) は必修科目ですが、選択科目として読み替えます。卒業論文を履修する場合は、必ず 4 年次に哲学演習 (4 単位) も履修してください。
3. 卒業論文以外の必修科目【哲学概論 1 / 2、論理学概論 1 / 2、倫理学概論 1 / 2、西洋哲学史 I - 1 / I - 2、西洋哲学史 II - 1 / II - 2、基礎演習 1 / 2】12 科目のうち、12 単位以上を選択必修とします。すべてを履修することも可能です。
4. 哲学特講は選択必修科目ですが、選択科目として読み替えます。

文学部 卒業要件 (SS I)
哲学科

2016 年度入学者

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)		
	4 群 (外国語)		
	5 群 (保健体育)	2 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	選択科目(必修科目から選択科目として読み替え)	卒業論文	規定せず
	選択必修科目(必修科目から読み替え)	哲学概論 1 / 2 論理学概論 1 / 2 倫理学概論 1 / 2 西洋哲学史 I - 1 / I - 2 西洋哲学史 II - 1 / II - 2 基礎演習 1 / 2	12 単位以上
	選択科目(選択必修科目からの読み替え科目を含みます)		規定せず
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I / II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から履修してください。
- 卒業論文 (8 単位) は必修科目ですが、選択科目として読み替えます。卒業論文を履修する場合は、必ず 4 年次に哲学演習 (4 単位) も履修してください。
- 卒業論文以外の必修科目【哲学概論 1 / 2、論理学概論 1 / 2、倫理学概論 1 / 2、西洋哲学史 I - 1 / I - 2、西洋哲学史 II - 1 / II - 2、基礎演習 1 / 2】12 科目のうち、12 単位以上を選択必修とします。すべてを履修することも可能です。
- 哲学特講は選択必修科目ですが、選択科目として読み替えます。

2015年度以前入学者 (卒論選択型)

区分・系列		単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)		24 単位以上	
	1群 (人文分野)	14 単位以上		
	2群 (社会分野)			
	3群 (自然科学)			
	4群 (外国語)	4 単位以上 ※注 1		
	5群 (保健体育)	2 単位以上		
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上		
専門科目	必修科目	基礎演習 4 単位・卒業論文 8 単位	12 単位以上	56 単位以上
	選択必修科目	哲学概論、論理学概論、倫理学概論、西洋哲学史 I / II (必修科目から読み替え)	12 単位以上	
		哲学演習	8 単位以上 16 単位以下	
	選択科目	(選択必修科目からの読み替え科目を含みます)	規定せず	
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)				
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I / II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- 基礎演習と卒業論文は必修です。
- 基礎演習・卒業論文以外の必修科目 (哲学概論、論理学概論、倫理学概論、西洋哲学史 I / II) 5 科目のうち、3 科目 12 単位以上を選択必修とします。
- 哲学特講は選択必修科目ですが、選択科目として読み替えます。

2015年度以前入学者 (卒論非選択型)

区分・系列		単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上	
	1群 (人文分野)			
	2群 (社会分野)			
	3群 (自然科学)			
	4群 (外国語)			
	5群 (保健体育)	4 単位以上 ※注 1		
		2 単位以上		
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上		
専門科目	選択必修科目 (必修科目から読み替え)	哲学概論、論理学概論、 倫理学概論、西洋哲学史 I / II 基礎演習 1 / 2	12 単位以上	56 単位以上
	選択科目 (選択必修科目からの読み替え科目を含みます)		規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)			
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I / II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- 卒業論文以外の必修科目 (哲学概論、論理学概論、倫理学概論、西洋哲学史 I / II、基礎演習 1 / 2) 7 科目のうち、12 単位以上を選択必修とします。すべてを履修することも可能です。卒業論文は履修できません。
- 哲学演習、哲学特講は選択必修科目ですが、選択科目として読み替えます。

2017 年度以降入学者

区分・系列		単位規定			
I L A C 科 目	0 群 (導入)	14 単位以上 ※注 1		24 単位以上	
	1 群 (人文分野)				
	2 群 (社会分野)				
	3 群 (自然科学)				
	4 群 (外国語)				4 単位以上 ※注 2
5 群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3				
S S I 科 目	S S I 基礎科目	14 単位		44 単位以上	
	S S I 専門科目	30 単位以上			
専 門 科 目	必修科目 (7 科目)	14 単位		56 単位以上	
	選択必修科目	ゼミナール	8 単位以下		42 単位以上
		日本文芸研究特講	24 単位以上 32 単位以下		
	選択科目 (「日本文芸学概論 A/B」、 「日本語学概論 A/B」を含む)	規定せず			
	卒業論文	規定せず			
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)					
卒業所要単位合計 132 単位以上					

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 ILAC 科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

備考

1. I L A C 科目 (24 単位以上)、S S I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なため、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
2. 必修科目 (7 科目) は、コース共通の必修科目 (3 科目) およびコースごとの必修科目 (4 科目) です。
3. 「日本文芸学概論 A/B」「日本語学概論 A/B」は必修科目ではなく、選択科目として履修することになります。
4. ゼミナールを履修する学生は、1 年次秋学期に選抜等の手続きがありますので、諸連絡に注意してください。また、ゼミナールは継続履修を原則とします。ゼミナールを履修しない学生は、2 年次より文学コース・言語コースのどちらかを選択し、所属してください。
5. 卒業論文を履修する学生は、ゼミナールを必ず履修してください。
6. 教職課程の履修希望者は、ゼミナール、卒業論文を履修することが望ましいです。

2016 年度入学者

区分・系列		単位規定			
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上		24 単位以上	
	1 群 (人文分野)				
	2 群 (社会分野)				
	3 群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 1			
	4 群 (外国語)				
5 群 (保健体育)	2 単位以上				
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位		44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上			
専門科目	必修科目 (7 科目)	14 単位		56 単位以上	
	選択必修科目	ゼミナール	8 単位以下		42 単位以上
		日本文芸研究特講	24 単位以上 32 単位以下		
	選択科目 (「日本文芸学概論 A/B」、 「日本語学概論 A/B」を含む)	規定せず			
	卒業論文	規定せず			
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)					
卒業所要単位合計 132 単位以上					

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- 必修科目 (7 科目) は、コース共通の必修科目 (3 科目) およびコースごとの必修科目 (4 科目) です。
- 「日本文芸学概論 A/B」「日本語学概論 A/B」は必修科目ではなく、選択科目として履修することになります。
- ゼミナールを履修する学生は、1 年次秋学期に選抜等の手続きがありますので、諸連絡に注意してください。また、ゼミナールは継続履修を原則とします。ゼミナールを履修しない学生は、2 年次より文学コース・言語コースのどちらかを選択し、所属してください。
- 卒業論文を履修する学生は、ゼミナールを必ず履修してください。
- 教職課程の履修希望者は、ゼミナール、卒業論文を履修することが望ましいです。

2015 年度以前入学者 (卒論選択型)

区分・系列		単位規定			
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上		24 単位以上	
	1 群 (人文分野)				
	2 群 (社会分野)				
	3 群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 1			
	4 群 (外国語)				
5 群 (保健体育)	2 単位以上				
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位		44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上			
専門科目	必修科目 (8 科目)		22 単位		56 単位以上
	選択必修科目	【2013 年度以前入学者】 日本文芸研究ゼミナール	8 単位		
		【2014 年度以降入学者】 ゼミナール			
		日本文芸研究特講	16 単位以上 20 単位以下		
	選択科目		規定せず		
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)					
卒業所要単位合計 132 単位以上					

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- 必修科目 (8 科目) は、コース共通の必修科目 (4 科目) およびコースごとの必修科目 (4 科目) です。
- 「日本文芸学概論 A/B」「日本言語学概論 A/B」は必修科目ではなく、選択科目として履修することになります。
- 教職課程の履修希望者は、卒論選択型を選択することが望ましい。

2015 年度以前入学者 (卒論非選択型)

区分・系列		単位規定			
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上		24 単位以上	
	1 群 (人文分野)				
	2 群 (社会分野)				
	3 群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 1			
	4 群 (外国語)				
5 群 (保健体育)	2 単位以上				
S S I 科目	S S I 基礎科目	14 単位		44 単位以上	
	S S I 専門科目	30 単位以上			
専門科目	必修科目 (卒論を除く 7 科目)	14 単位		56 単位以上	
	選択必修科目	日本文芸研究特講	24 単位以上 32 単位以下		42 単位以上
	選択科目		規定せず		
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)				
卒業所要単位合計 132 単位以上					

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、S S I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- 卒論非選択型を選択した学生は、2 年次より文学コース・言語コースのどちらかを選択し、所属してください。
- 必修科目 (卒論を除く 7 科目) は、コース共通の必修科目 (3 科目) およびコースごとの必修科目 (4 科目) です。
- 「日本文芸学概論 A/B」「日本言語学概論 A/B」は必修科目ではなく、選択科目として履修することになります。

2017 年度以降入学者

区分・系列		単位規定	
I L A C 科 目	0 群 (導入)	14 単位以上 ※注 1	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 2	
	4 群 (外国語)		
	5 群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3	
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専 門 科 目	卒業論文	規定せず	56 単位以上
	選択必修 A	24 単位以上	
	選択必修 B	12 単位以上	
	選択必修 C	8 単位以上	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 ILAC 科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

備考

1. ILAC 科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。

2016 年度入学者

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)		
	4 群 (外国語)		
	5 群 (保健体育)	4 単位以上 ※注 1	
		2 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	卒業論文	規定せず	56 単位以上
	選択必修 A	24 単位以上	
	選択必修 B	12 単位以上	
	選択必修 C	8 単位以上	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。

文学部 卒業要件 (SSI)

英文学科

2015 年度以前入学者 (卒論選択型)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 1	
	4 群 (外国語)		
	5 群 (保健体育)	2 単位以上	
SSI 科目	SSI 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上	
専門科目	必修科目	8 単位	56 単位以上
	選択必修 A	24 単位以上	
	選択必修 B	12 単位以上	
	選択必修 C	8 単位以上	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

1. 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SSI 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。

文学部 卒業要件 (SSI)

英文学科

2015年度以前入学者 (卒論非選択型)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)		
	5群 (保健体育)	2 単位以上	
SSI科目	SSI 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上	
専門科目	選択必修 A	24 単位以上	56 単位以上
	選択必修 B	12 単位以上	
	選択必修 C	8 単位以上	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注1 市ヶ谷基礎科目 4群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

1. 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SSI 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。

2017年度以降入学者

区分・系列		単位規定	
I L A C 科 目	0群 (導入)	14 単位以上 ※注 1	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)		
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3	
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専 門 科 目	選択必修科目 (概説系) ※ 1	16 単位以上	56 単位以上
	選択必修科目 (分野別共通系)	2 単位以上	
	選択必修科目 (史料・外書講読・実習系) ※ 2	22 単位以上	
	選択必修科目 (専攻系・特講系) ※ 2	規定せず	
	選択科目 (演習系・卒業論文)		
	選択科目		
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 ILAC 科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

備考

- I L A C 科目 (24 単位以上)、S S I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、不足する単位は、履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- ※ 1 の選択必修科目 (概説系) は、日本史概説・東洋史概説・西洋史概説からそれぞれ 4 単位修得し、残る 4 単位については、任意の概説から修得します。ただし、選択科目 (演習系・卒業論文) を選択した場合、選択した演習が所属する専攻の概説を 8 単位、それ以外の 2 専攻の概説を各 4 単位以上、修得しなければなりません。
- 日本史・東洋史・西洋史の専攻には所属しません。ただし、選択科目 (演習系・卒業論文) を選択した場合には、2 年次より日本史・東洋史・西洋史の専攻に所属することになります。選択科目 (演習系・卒業論文) を選択する際には、演習所属のための所定の手続きにしたがって、演習指導教員の了解を得る必要があります。
- ※ 2 の選択必修科目については、日本史・東洋史・西洋史のいずれの分野からでも選択することができます。また、専攻系・特講系科目は各々 4 単位まで継続履修が可能となります。ただし、選択科目 (演習系・卒業論文) を選択した場合、選択した演習が所属する専攻の科目を 10 単位以上、それ以外の 2 専攻の科目を各 4 単位以上、修得しなければなりません。

2016 年度入学者

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)		
	4 群 (外国語)	4 単位以上 ※注 1	
	5 群 (保健体育)	2 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	選択必修科目 (概説系) ※ 1	16 単位以上	56 単位以上
	選択必修科目 (分野別共通系)	2 単位以上	
	選択必修科目 (史料・外書講読・実習系) ※ 2	22 単位以上	
	選択必修科目 (専攻系・特講系) ※ 2		
	選択科目 (演習系・卒業論文)	規定せず	
	選択科目		
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、不足する単位は、履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- ※ 1 の選択必修科目 (概説系) は、日本史概説・東洋史概説・西洋史概説からそれぞれ 4 単位修得し、残る 4 単位については、任意の概説から修得します。ただし、選択科目 (演習系・卒業論文) を選択した場合、選択した演習が所属する専攻の概説を 8 単位、それ以外の 2 専攻の概説を各 4 単位以上、修得しなければなりません。
- 日本史・東洋史・西洋史の専攻には所属しません。ただし、選択科目 (演習系・卒業論文) を選択した場合には、2 年次より日本史・東洋史・西洋史の専攻に所属することになります。選択科目 (演習系・卒業論文) を選択する際には、演習所属のための所定の手続きにしたがって、演習指導教員の了解を得る必要があります。
- ※ 2 の選択必修科目については、日本史・東洋史・西洋史のいずれの分野からでも選択することができます。また、専攻系・特講系科目は各々 4 単位まで継続履修が可能となります。ただし、選択科目 (演習系・卒業論文) を選択した場合、選択した演習が所属する専攻の科目を 10 単位以上、それ以外の 2 専攻の科目を各 4 単位以上、修得しなければなりません。

2015年度以前入学者 (卒論選択型)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)		
	5群 (保健体育)	2 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	必修科目	8 単位	56 単位以上
	選択必修科目 (概説系) ※1	16 単位以上	
	選択必修科目 (分野別共通系)	2 単位以上	
	選択必修科目 (史料・外書講読・実習系)	4 単位以上	
	選択必修科目 (演習系)	8 単位	
	選択必修科目 (専攻系・特講系) ※2	18 単位以上	
	選択科目	規定せず	
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)			
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注1 市ヶ谷基礎科目 4群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、不足する単位は、専門教育科目 (選択科目・自由科目を含みます) から履修することが望ましい。
- 2 年次より日本史・東洋史・西洋史のコースへ所属します。
- ※1 の選択必修科目 (概説系) は、所属専攻の概説を 8 単位、所属専攻以外の概説を各 4 単位以上修得しなければなりません。
- ※2 の選択必修科目 (専攻系・特講系) は、所属する専攻の科目を 10 単位以上、所属専攻以外の 2 専攻を各 4 単位以上、修得しなければなりません。

2015 年度以前入学者 (卒論非選択型)

区分・系列		また単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)		
	4 群 (外国語)		
	5 群 (保健体育)	2 単位以上	
SSI 科目	SSI 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上	
専門科目	選択必修科目 (概説系) ※ 1	16 単位以上	56 単位以上
	選択必修科目 (分野別共通系)	2 単位以上	
	選択必修科目 (史料・外書講読・実習系) ※ 2	22 単位以上	
	選択必修科目 (専攻系・特講系) ※ 2		
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SSI 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- ※ 1 の日本史概説・東洋史概説・西洋史概説からそれぞれ 4 単位修得し、残る 4 単位については、任意の概説から修得します。
- 日本史・東洋史・西洋史のコースには所属しません。※ 2 の選択必修科目については、日本史・東洋史・西洋史のいずれの分野からでも選択することができます。また、専攻系・特講系科目は各々 4 単位まで継続履修可能となります。

2017年度以降入学者 (卒論選択型)

区分・系列		単位規定	
I L A C 科 目	0群 (導入)	14 単位以上 ※注 1	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)	4 単位以上 ※注 2	
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3	
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専 門 科 目	必修科目	18 単位	56 単位以上
	選択必修科目	24 単位以上	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 ILAC 科目 4群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

備考

- 卒論選択型あるいは卒論非選択型のコース選択は 4 年次進級時に行います。
- ILAC 科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- 専門科目の必修科目には以下の科目が含まれます。
 - ・地理学概論 (1) ・地理学概論 (2) ・地理実習 (1) ・地理実習 (2)
 - ・現地研究 ・卒業論文
- 卒論を選択する場合は、かならず選択必修科目である演習 (ゼミ) を履修してください。
- 所定の科目を履修することによって、教職の免許の取得が可能です。
- 測量士補の資格取得希望者は、受講科目のアドバイス、および注意する点がありますので、早めに地理学科事務室 (ボアソナード・タワー12 階) で指導を受けるようにしてください。

2017年度以降入学者 (卒論非選択型)

区分・系列		単位規定	
I L A C 科 目	0群 (導入)	14 単位以上 ※注 1	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 2	
	4群 (外国語)		
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3	
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専 門 科 目	必修科目	規定せず (但し、卒業論文は履修できません)	56 単位以上
	選択必修科目	規定せず	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 ILAC 科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

備考

1. 卒論選択型あるいは卒論非選択型のコース選択は 4 年次進級時に行います。
2. ILAC 科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
3. 所定の科目を履修することによって、教職の免許の取得が可能です。
4. 測量士補の資格取得希望者は、受講科目のアドバイス、および注意する点がありますので、早めに地理学科事務室 (ボアソナード・タワー12 階) で指導を受けるようにしてください。

2016 年度入学者 (卒論選択型)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)		
	4 群 (外国語)		
	5 群 (保健体育)	4 単位以上 ※注 1	
		2 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	必修科目	18 単位	56 単位以上
	選択必修科目	24 単位以上	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I / II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

1. 卒論選択型あるいは卒論非選択型のコース選択は 4 年次進級時に行います。
2. 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
3. 専門科目の必修科目には以下の科目が含まれます。
 - ・地理学概論 (1) ・地理学概論 (2) ・地理実習 (1) ・地理実習 (2)
 - ・現地研究 ・卒業論文
4. 卒論を選択する場合は、かならず選択必修科目である演習 (ゼミ) を履修してください。
5. 所定の科目を履修することによって、教職の免許の取得が可能です。
6. 測量士補の資格取得希望者は、受講科目のアドバイス、および注意する点がありますので、早めに地理学科事務室 (ボアソナード・タワー12 階) で指導を受けるようにしてください。

2016 年度入学者 (卒論非選択型)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)		
	4 群 (外国語)	4 単位以上 ※注 1	
	5 群 (保健体育)	2 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	必修科目	規定せず (但し、卒業論文は履修できません)	56 単位以上
	選択必修科目	規定せず	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

1. 卒論選択型あるいは卒論非選択型のコース選択は 4 年次進級時に行います。
2. 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
3. 所定の科目を履修することによって、教職の免許の取得が可能です。
4. 測量士補の資格取得希望者は、受講科目のアドバイス、および注意する点がありますので、早めに地理学科事務室 (ボアソナード・タワー12 階) で指導を受けるようにしてください。

文学部 卒業要件 (SSI)

地理学科

2015年度以前入学者 (卒論選択型)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)	4 単位以上 ※注 1	
5群 (保健体育)	2 単位以上		
SSI科目	SSI 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上	
専門科目	必修科目	18 単位	56 単位以上
	選択必修科目	24 単位以上	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

1. 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SSI 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
2. 所定の科目を履修することによって、教職の免許の取得が可能です。
3. 測量士補の資格取得希望者は、受講科目のアドバイス、および注意する点がありますので、早めに地理学科事務室 (ポアソナード・タワー12 階) で指導を受けるようにしてください。

文学部 卒業要件 (SS I)

地理学科

2015 年度以前入学者 (卒論非選択型)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1 群 (人文分野)		
	2 群 (社会分野)		
	3 群 (自然科学)		
	4 群 (外国語)		
	5 群 (保健体育)	4 単位以上 ※注 1	
		2 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門科目	必修科目	規定せず (但し、卒業論文は履修できません)	56 単位以上
	選択必修科目	規定せず	
	選択科目	規定せず	
	自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)		
卒業所要単位合計 132 単位以上			

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I / II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- 所定の科目を履修することによって、教職の免許の取得が可能です。
- 測量士補の資格取得希望者は、受講科目のアドバイス、および注意する点がありますので、早めに地理学科事務室 (ポアソナード・タワー12 階) で指導を受けるようにしてください。

2017 年度以降入学者

区分・系列		単位規定		
I L A C 科 目	0 群 (導入)	14 単位以上 ※注 1	24 単位以上	
	1 群 (人文分野)			
	2 群 (社会分野)			
	3 群 (自然科学)	4 単位以上 ※注 2		
	4 群 (外国語)			
	5 群 (保健体育)	2 単位以上 ※注 3		
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上		
専 門 科 目	卒業論文	規定せず	56 単位以上	
	学科基礎科目			
	展開科目			演習 I
				演習 II
				研究法
				認知系科目群・ 発達系科目群
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)				
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 ILAC 科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

備考

- I L A C 科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- SS I 学生で卒業論文の履修をしようとする場合、他の SS I 以外の学生と同様に 2 年次秋学期に行われる「研究法 I / II 事前調査」に回答、提出し、3 年次からのゼミ配属手続を行ってください。

2016 年度入学者

区分・系列		単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上	
	1 群 (人文分野)			
	2 群 (社会分野)			
	3 群 (自然科学)			
	4 群 (外国語)			
	5 群 (保健体育)	4 単位以上 ※注 1		
		2 単位以上		
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上		
専門科目	卒業論文		規定せず	56 単位以上
	学科基礎科目			
	展開科目	演習 I		
		演習 II		
		研究法		
		認知系科目群・ 発達系科目群		
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)				
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I / II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

- 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。
- SS I 学生で卒業論文の履修をしようとする場合、他の SS I 以外の学生と同様に 2 年次秋学期に行われる「研究法 I / II 事前調査」に回答、提出し、3 年次からのゼミ配属手続を行ってください。

文学部 卒業要件 (SS I)

心理学科

2015 年度以前入学者

区分・系列		単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上	
	1 群 (人文分野)			
	2 群 (社会分野)			
	3 群 (自然科学)			
	4 群 (外国語)			
	5 群 (保健体育)	4 単位以上 ※注 1		
		2 単位以上		
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上		
専門科目	必修科目	規定せず	56 単位以上	
	学科基礎科目			
	展開科目			演習 I
				演習 II
				研究法
認知系科目群・ 発達系科目群				
自由科目 (※「56 単位以上」に含まれません。卒業所要単位合計に含まれます。)				
卒業所要単位合計 132 単位以上				

※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語) は入学時に選択した外国語を合計 4 単位以上修得する必要があります。英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II から履修してください (SSI 生用の外国語科目の履修も対象)。ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります (「入門英語 (SSI) I/II」は対象外)。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

備考

市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は履修が認められている科目 (自由科目を含みます) から修得してください。

進路に関する規程（文学部）

2016年度以降入学者

- 第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに、卒業所要単位のうち20単位以上を修得しなければならない。
- 第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに、卒業所要単位のうち36単位以上を修得しなければならない。
- 第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに、卒業所要単位のうち84単位以上を修得しなければならない。ただし、基礎科目※4群（外国語科目）及び基礎科目※5群（保健体育科目）の卒業要件を満たしているものとする。
- 2 哲学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、次の要件を全て満たさなければならない。
- (1) 次に示す①から⑤のうち、4組以上を修得すること。
- ① 「哲学概論1」「哲学概論2」
 - ② 「論理学概論1」「論理学概論2」
 - ③ 「倫理学概論1」「倫理学概論2」
 - ④ 「西洋哲学史Ⅰ-1」「西洋哲学史Ⅰ-2」
 - ⑤ 「西洋哲学史Ⅱ-1」「西洋哲学史Ⅱ-2」
- (2) 「基礎演習1」「基礎演習2」の2科目のうち、1科目以上修得すること。
- 3 日本文学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、次の14単位を全て修得しなければならない。
- ① 「大学での国語力」 2単位
 - ② 「日本文芸学概論A」 2単位
 - ③ 「日本文芸学概論B」 2単位
 - ④ 「日本言語学概論A」 2単位
 - ⑤ 「日本言語学概論B」 2単位
 - ⑥ 「ゼミナールA」 2単位
 - ⑦ 「ゼミナールB」 2単位
- 4 史学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、選択必修科目（演習系）のうち、4単位以上修得しなければならない。
- 第4条 前条における不足単位数がある場合は、次により第3年次の当該年度末に再試験を受けることができる。ただし、文学部設置の専門教育科目は再試験を行わない。
- (1) 基礎科目※と専門教育科目をあわせて2科目まで（実験・実習・実技・演習科目を除く。）
- 第5条 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。ただし、法政大学学則第49条第4項に定める場合は除く。
- 第6条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。
- ※2017年度以降入学者は、ILAC科目という名称で履修します。

注 進級再試験については『文学部 履修の手引き』の「【文学部項目】授業・試験・成績について—9.試験—再試験について（3年次のみ）」を熟読してください。

2014年度・2015年度入学者

- 第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに、卒業所要単位のうち20単位以上を修得しなければならない。
- 第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに、卒業所要単位のうち36単位以上を修得しなければならない。
- 第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに、卒業所要単位のうち84単位以上を修得しなければならない。ただし、基礎科目4群（外国語科目）及び基礎科目5群（保健体育科目）の卒業要件を満たしているものとする。
- 2 哲学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、次の要件を全て満たさなければならない。
- (1) 「哲学概論」「論理学概論」「倫理学概論」「西洋哲学史Ⅰ」「西洋哲学史Ⅱ」の5科目のうち、4科目以上修得すること。
- (2) 「基礎演習1」「基礎演習2」の2科目のうち、1科目以上修得すること。
- 3 日本文学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、次の14単位を全て修得しなければならない。
- | | |
|--------------|-----|
| ① 「大学での国語力」 | 2単位 |
| ② 「日本文芸学概論A」 | 2単位 |
| ③ 「日本文芸学概論B」 | 2単位 |
| ④ 「日本言語学概論A」 | 2単位 |
| ⑤ 「日本言語学概論B」 | 2単位 |
| ⑥ 「ゼミナールA」 | 2単位 |
| ⑦ 「ゼミナールB」 | 2単位 |
- 4 史学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、選択必修科目（演習系）のうち、4単位以上修得しなければならない。
- 第4条 前条における不足単位数がある場合は、次により第3年次の当該年度末に再試験を受けることができる。ただし、文学部設置の専門教育科目は再試験を行わない。
- (1) 基礎科目と専門教育科目をあわせて2科目まで（実験・実習・実技・演習科目を除く。）
- 第5条 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。ただし、法政大学学則第49条第4項に定める場合は除く。
- 第6条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

注 進級再試験については『文学部 履修の手引き』の「【文学部項目】授業・試験・成績について—9.試験—再試験について（3年次のみ）」を熟読してください。

2012年度・2013年度入学者

- 第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに、卒業所要単位のうち20単位以上を修得しなければならない。
- 第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに、卒業所要単位のうち36単位以上を修得しなければならない。
- 第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに、卒業所要単位のうち84単位以上を修得しなければならない。ただし、基礎科目4群（外国語科目）及び基礎科目5群（保健体育科目）の卒業要件を満たしているものとする。
- 2 哲学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、次の要件を全て満たさなければならない。
- (1) 「哲学概論」「論理学概論」「倫理学概論」「西洋哲学史Ⅰ」「西洋哲学史Ⅱ」の5科目のうち、4科目以上修得すること。
- (2) 「基礎演習1」「基礎演習2」の2科目のうち、1科目以上修得すること。
- 3 日本文学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、次の14単位を全て修得しなければならない。
- | | |
|-----------------|-----|
| ① 「大学での国語力」 | 2単位 |
| ② 「日本文芸学概論A」 | 2単位 |
| ③ 「日本文芸学概論B」 | 2単位 |
| ④ 「日本言語学概論A」 | 2単位 |
| ⑤ 「日本言語学概論B」 | 2単位 |
| ⑥ 「日本文芸研究ゼミナール」 | 4単位 |
- 4 史学科に所属する者（SSI所属学生は除く）は、第1項に規定する要件を満たしたうえで、選択必修科目（演習系）のうち、4単位以上修得しなければならない。
- 第4条 前条における不足単位数がある場合は、次により第3年次の当該年度末に再試験を受けることができる。
- ただし、文学部設置の専門教育科目は再試験を行わない。
- (1) 基礎科目と専門教育科目をあわせて2科目まで（実験・実習・実技・演習科目を除く。）
- 第5条 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。ただし、法政大学学則第49条第4項に定める場合は除く。
- 第6条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

注 進級再試験については『文学部 履修の手引き』の「【文学部項目】授業・試験・成績について—9.試験—再試験について（3年次のみ）」を熟読してください。

【2016年度以降入学生】卒業所要単位

区分・系列		単位規定	
基礎教育科目	入門ゼミ	4 単位	
外国語科目	英語	6 単位	6 単位以上
	選択科目	自由選択	
保健体育科目	スポーツ総合	2 単位	2 単位以上
	スポーツ種目	自由選択	
総合教育科目		14 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
専門教育科目		54 単位以上	
卒業所要単位合計 124 単位以上			

進級に関する規程（経済学部）

- (1) 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに20単位以上修得していなければならない。
- (2) 第2年次から第3年次へ進級する者は、第2年次修了までに50単位以上修得していなければならない。
- (3) 第3年次から第4年次へ進級する者は、第3年次修了までに次の単位を修得していなければならない。
 - ① 基礎教育科目の卒業所要単位（＝入門ゼミ4単位）
 - ② 外国語科目の卒業所要単位（＝英語6単位）
 - ③ 保健体育科目の卒業所要単位（＝スポーツ総合2単位）
 - ④ 総合教育科目＋SS I 基礎科目＋SS I 専門科目＋専門教育科目 \geq 76単位
- (4) 単位不足で第3年次（第4年度目以降）に留められた者は、履修単位制限内で履修することができる。ただし、留年した第3年次で卒業に必要な単位を修得した場合でも、第4年次には4単位以上修得しなければならない。

（注1）本規程は、SS I 所属経済学科生および現代ビジネス学科生に適用する。

（注2）進級に関する再試験は実施しない。

社会学部 社会政策科学科 卒業要件 (SSI)

2018年度以降入学者対象

区分・科目群		卒業所要単位						
総合科目	基礎演習	選択				30単位以上	124単位以上	
	視野形成科目	B群から選択必修 4単位以上						
	情報教育基礎	選択						
	保健体育科目	スポーツ総合1	必修		2単位			
		スポーツ総合2	選択					
	外国語	Basic English 1・2	必修		4単位			
諸外国語初級A・B		必修		4単位				
学科専門科目	入門科目	選択必修 6単位以上				74単位以上		
	学科共通科目	基礎科目	選択必修 12単位以上					
		展開科目	選択必修 8単位以上					
	コース専門科目	企業と社会コース	選択必修 (1つのコースを 選択)	A群	2単位以上			18単位以上
		サステイナビリティコース		B群				
		グローバル市民社会コース						
演習	選択							
外国語教育プログラム	Advanced English Program ドイツ語中級プログラム フランス語中級プログラム 中国語中級プログラム	選択						
	諸外国語選択科目							
自由選択科目								

<注意事項>

- ◆「入門科目」の卒業所要単位6単位は、2年次までに単位修得しなければならない(3年次への進級要件)。
- ◆各コースに1年次から履修できるコース専門科目(A群科目)が2つずつ設定されている。各コースで扱う問題領域の概略を知ることができるので、ぜひ1年次にさまざまなコースのA群科目を履修してほしい。ただし、卒業には、選択したコースから、A群科目2単位を含めて合計18単位の修得が必要である。1年次に修得したA群科目のコースと異なるコースを選択した場合は、2年次以降に、選択したコースのA群科目2単位を修得しなければならないことに注意しよう。
- ◆社会学部SSI生に関する「SSI基礎科目」「SSI専門科目」の単位充当先等については、社会学部履修要綱で必ず確認すること。

社会学部 社会学科 卒業要件 (SSI)
 ※「人間・社会」「地域・社会」「文化・社会」各コース選択者

2018年度以降入学者対象

区分・科目群			卒業所要単位	
総合科目	基礎演習		選択	
	視野形成科目		B群から選択必修 4単位以上	
	情報教育基礎		選択	
	保健体育科目	スポーツ総合1	必修 2単位	
		スポーツ総合2	選択	
	外国語	Basic English 1・2	必修 4単位	
諸外国語初級A・B		必修 4単位		
専門科目	学科専門科目	入門科目		選択必修 6単位以上
		学科共通科目	基礎科目	A群 選択必修 6単位以上
			B群	選択必修 12単位以上
		展開科目		選択必修 12単位以上
		コース専門科目	人間・社会コース	選択必修 (1つのコースを選択) 18単位以上
	地域・社会コース			
	文化・社会コース			
	国際・社会コース			
	演習		選択	
	外国語教育プログラム	Advanced English Program ドイツ語中級プログラム フランス語中級プログラム 中国語中級プログラム		選択
諸外国語選択科目				
自由選択科目				

124単位以上

<注意事項>

- ◆「入門科目」の卒業所要単位6単位は、2年次までに単位修得しなければならない(3年次への進級要件)。
- ◆「学科共通基礎科目」の卒業所要単位12単位のうち、6単位はA群の科目から単位修得しなければならない。
- ◆「人間・社会」「地域・社会」「文化・社会」各コースを選択した場合と、「国際・社会」コースを選択した場合とでは、卒業要件が大きく異なる。
 「人間・社会」「地域・社会」「文化・社会」各コース選択者は、「学科共通展開科目」12単位の修得が必要となるのに対して、「国際・社会」コース選択者は、「学科共通展開科目」の単位修得が免除されるかわりに、「外国語教育プログラム」に置かれた、Advanced English Program・ドイツ語中級プログラム・フランス語中級プログラム・中国語中級プログラムのうちいずれかひとつを選択し、12単位修得しなければならない。
- ◆「国際・社会」コース選択者が他のコースへ、あるいは他のコース選択者が「国際・社会」コースへコースを変更する場合には、それぞれのコースで卒業要件が異なることをふまえて、慎重に判断すること。
- ◆社会学科のカリキュラムで提供される科目のうち、社団法人社会調査協会所定の14単位を修得することにより、「社会調査士」資格を取得できる。詳しくは「社会学部履修要綱」で確認すること。
- ◆社会学部SSI生に関する「SSI基礎科目」「SSI専門科目」の単位充当先等については、社会学部履修要綱で必ず確認すること。

社会学部 社会学科 卒業要件 (SSI)
※「国際・社会」コース選択者

2018年度以降入学者対象

区分・科目群			卒業所要単位	
総合科目	基礎演習		選択	
	視野形成科目		B群から選択必修 4単位以上	
	情報教育基礎		選択	
	保健体育科目	スポーツ総合1	必修 2単位	
		スポーツ総合2	選択	
	外国語	Basic English 1・2	必修 4単位	
諸外国語初級A・B		必修 4単位		
専門科目	学科学科専門科目	入門科目	選択必修 6単位以上	
		基礎科目	A群	選択必修 6単位以上
	B群		選択必修 12単位以上	
	コース専門科目	展開科目	選択	
		国際・社会コース	選択必修 18単位以上	
		人間・社会コース	選択	
		地域・社会コース		
文化・社会コース	選択			
演習	選択			
外国語教育プログラム	Advanced English Program ドイツ語中級プログラム フランス語中級プログラム 中国語中級プログラム		選択必修 (左記プログラムのうちいずれか1つを選択) 12単位※	
	諸外国語選択科目		選択	
自由選択科目				

※「国際・社会」コース選択者は、「外国語教育プログラム」に置かれた、Advanced English Program・ドイツ語中級プログラム・フランス語中級プログラム・中国語中級プログラムのうちいずれかひとつを選択し、12単位修得すること。

<注意事項>

- ◆「入門科目」の卒業所要単位6単位は、2年次までに単位修得しなければならない(3年次への進級要件)。
- ◆「学科学科基礎科目」の卒業所要単位12単位のうち、6単位はA群の科目から単位修得しなければならない。
- ◆「人間・社会」「地域・社会」「文化・社会」各コースを選択した場合と、「国際・社会」コースを選択した場合とでは、卒業要件が大きく異なる。「人間・社会」「地域・社会」「文化・社会」各コース選択者は、「学科学科展開科目」12単位の修得が必要となるのに対して、「国際・社会」コース選択者は、「学科学科展開科目」の単位修得が免除されるかわりに、「外国語教育プログラム」に置かれた、Advanced English Program・ドイツ語中級プログラム・フランス語中級プログラム・中国語中級プログラムのうちいずれかひとつを選択し、12単位修得しなければならない。
- ◆「国際・社会」コース選択者が他のコースへ、あるいは他のコース選択者が「国際・社会」コースへコースを変更する場合には、それぞれのコースで卒業要件が異なることをふまえて、慎重に判断すること。
- ◆社会学部のカリキュラムで提供される科目のうち、社団法人社会調査協会所定の14単位を修得することにより、「社会調査士」資格を取得できる。詳しくは「社会学部履修要綱」で確認すること。
- ◆社会学部SSI生に関する「SSI基礎科目」「SSI専門科目」の単位充当先等については、社会学部履修要綱で必ず確認すること。

社会学部 メディア社会学科 卒業要件 (SSI)

2018年度以降入学者対象

区分・科目群			卒業所要単位	
総合科目	基礎演習		選択	
	視野形成科目		B群から選択必修 4単位以上	
	情報教育基礎		選択	
	保健体育科目	スポーツ総合1	必修 2単位	
		スポーツ総合2	選択	
	外国語	Basic English 1・2	必修 4単位	
諸外国語初級A・B		必修 4単位		
専門科目	学科学科専門科目	入門科目		選択必修 6単位以上
		基礎科目	A群	選択必修 4単位以上
	B群		選択必修 12単位以上	
	コース専門科目	展開科目		選択
		メディア表現コース	選択必修 (1つのコースを選択) 18単位以上	
		メディア分析コース		
	メディア設計コース			
演習		選択		
外国語教育プログラム	Advanced English Program ドイツ語中級プログラム フランス語中級プログラム 中国語中級プログラム		選択	
	諸外国語選択科目			
自由選択科目				

30単位以上

74単位以上

124単位以上

<注意事項>

- ◆「入門科目」の卒業所要単位6単位は、2年次までに単位修得しなければならない(3年次への進級要件)。
- ◆「学科学科基礎科目」の卒業所要単位12単位のうち、4単位はA群の科目から単位修得しなければならない。
- ◆コース選択について
実習的な性格を持った「実践」科目の履修機会を保障するため、メディア社会学科カリキュラムに設置されたコースには収容上限(各コースメディア社会学科1年次在籍者の40%)が設けられている。上限を超えたコースでは、1年次GPAによる選抜を実施する。1年次秋学期に社会学部事務課へ提出する「コース選択希望登録票」によって、希望コースを登録する。「コース選択希望登録票」の提出に先立ち、「入門科目」等でコース選択のためのガイダンスを行うので、授業での案内や掲示に十分注意すること。なお、メディア社会学科では、原則としてコース変更を認めていない。
- ◆コース専門科目のモジュールについて
選択したコースの専門科目のうち「理論」「技法」科目を2年次以降に履修し、3年次以降には選択したコースの「実践」科目を履修する。卒業のためには、選択したコースの専門科目から18単位(9科目)以上の修得が必要となるので注意すること。
- ◆「実践」科目
コース専門科目の「実践」科目は、少人数による教育を前提としているので、履修登録に先立ち、クラスサイズを適正化するための調整を実施することがある。調整の実施時期は、2年次の成績発表から授業開始時までの間に設定し、掲示などにより告知する。具体的な調整方法についても、掲示などで告知するので十分に注意すること。
- ◆社会学部SSI生に関する「SSI基礎科目」「SSI専門科目」の単位充当先等については、社会学部履修要綱で必ず確認すること。

進級に関する規程（社会学部）

2018年度以降入学者対象

進級時期は学年度始め（4月）に限られている。進級するためには、各年次で通算して1年以上在学し、下記に述べる所定の単位数を充たさなければならない。

「学生が各年次所定の授業科目を履修しない場合、又は所定の単位を修得しない場合は、別に定める規程により進級することができない。」（学則第19条）

なお、下記に述べる単位に教職・資格に関する科目は含まれない。

【1年次から2年次への進級要件】

1年次で通算して1年以上在籍し、1年次終了までに、**24単位以上**を修得しなければならない。

【2年次から3年次への進級要件】

2年次で通算して1年以上在籍し、所属する学科の入門科目（4科目8単位）から**6単位以上**を修得しなければならない。

※2年次終了までに36単位以上を修得していない場合、3年次に履修登録上限があるため3年次から4年次への進級ができなくなるので十分注意すること。

【3年次から4年次への進級要件】

3年次で通算して1年以上在籍し、以下に示す要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 3年次終了までに、**76単位以上**を修得しなければならない。
- (2) 「Basic English 1-I・II」「Basic English 2-I・II」および「必修外国語として登録した諸外国語初級A・B」について、各々4単位、**合計8単位**を修得しなければならない。
- (3) 「スポーツ総合1-I・II」(**合計2単位**)を修得しなければならない。

社会学部 卒業要件 (SSI※全学科共通)

2014年度～2017年度入学者対象

社会学部を卒業し、学士(社会学)の学位を得るための卒業所要単位数(卒業に必要な単位数)は124単位であり、かつ在学年限内に下記の「卒業要件一覧表」の科目群・区分の条件をすべて満たさなければならない(下記の単位には教職・資格に関する科目は含まれない)。

【卒業要件一覧表】

科目群・区分		卒業所要単位				
共通基礎科目	基礎演習	選択				
	視野形成科目	B群から選択必修 4単位以上				
	社会調査	選択				
	情報教育基礎	選択				
	保健体育科目	スポーツ総合1	必修 2単位			
		スポーツ総合2	選択			
	外国語	Basic English1・2	必修 4単位			
諸外国語初級A・B		必修 4単位				
入門科目	社会政策科学科	「社会政策科学への招待」 「社会政策科学入門A・B」	選択必修 4単位以上			
		コース入門科目(学科指定)	選択必修 8単位以上			
	社会学科	「社会学への招待」 「社会学入門A・B」	選択必修 4単位以上			
		コース入門科目(学科指定)	選択必修 8単位以上			
	メディア社会学科	「メディア社会学への招待」 「メディア社会学入門A・B」	選択必修 4単位以上			
		コース入門科目(学科指定)	選択必修 8単位以上			
専門科目	社会科学基礎理論[BT]		選択必修 8単位以上			
	コース専門科目	①環境政策コース[EPC] ②企業と社会コース[BSC] ③コミュニティ・デザインコース[CDC] ④人間・社会コース[HSC] ⑤メディア社会コース[MSC]※3 ⑥メディア文化コース[MCC]※3 ⑦国際社会コース[ISC]※2	【主専攻】 主専攻のコース:22単位以上 【副専攻】※1 コースを副専攻に 選択した場合:10単位以上			
		プログラム専門科目	①政策リテラシープログラム[PLP] ②公務員プログラム[PSP] ③社会学総合プログラム[GSP] ④社会調査プログラム[SRP] ⑤情報デザインプログラム[IDP] ⑥メディア制作プログラム[MPP] ⑦Advanced English Program[AEP] ⑧諸外国語中級プログラム	【副専攻】※1 プログラムを副専攻に 選択した場合:10単位以上		
			諸外国語選択科目		選択	
			演習		選択	
			自由選択科目(他学部公開科目含む):科目群に関わらず履修できる科目		20単位以上	
					124単位以上	
					62単位以上	
			30単位以上			

※1 主専攻コースのほか、それ以外のコースまたはプログラムから副専攻を一つ以上修得することが卒業要件となる。自分が選択した副専攻でなくとも、10単位以上単位を修得しているコース・プログラム(主専攻コース以外)があれば、副専攻の卒業要件を満たすことになる(下記※2※3の場合を除く)。

※2 国際社会コースを主専攻として選択した場合は、Advanced English Programか諸外国語中級プログラムのいずれか一つを副専攻としなければならない。

※3 メディア社会コースを主専攻として選択した場合は、メディア文化コースを副専攻にすることはできない。同様に、メディア文化コースを主専攻とした場合は、メディア社会コースを副専攻にすることはできない。

進級に関する規程(社会学部)

2014年度～2017年度入学者対象

「学生が各年次所定の授業科目を履修しない場合、又は所定の単位を修得しない場合は別に定める規程により進級することはできない。」(学則第19条)

社会学部において進級するためには、年次ごとに下記の進級要件を満たさなければならない。1単位でも不足したり、間違いがあると、進級できないので注意すること。

なお、下記の単位に教職・資格に関する科目は含まれない。

【1年次から2年次への進級要件】

1年次で通算して1年以上在籍し、1年次終了までに、**24単位以上**を修得しなければならない。

【2年次から3年次への進級要件】

2年次で通算して1年以上在籍し、自分が所属する学科の「○○学への招待」、「○○学入門A・B」より**4単位以上**と、自分が所属する学科の「コース入門科目」より**8単位以上**を修得しなければならない。

※2年次終了までに27単位以上修得していない場合、3年次から4年次への進級はできない。

【3年次から4年次への進級要件】

3年次で通算して1年以上在籍し、以下に示す要件をすべて満たさなければならない。

- (1) 3年次終了までに、**76単位以上**を修得しなければならない。
- (2) 「Basic English 1- I・II」「Basic English 2- I・II」および「必修外国語として登録した諸外国語初級A・B」について、各々4単位、**合計8単位**を修得しなければならない。
- (3) 「スポーツ総合1- I・II」(**合計2単位**)を修得しなければならない。

2013年度以前入学者対象

社会学部を卒業し、学士の学位を得るための卒業所要単位数（卒業に必要な単位数）は、138単位であり、在学年限内に以下のとおり、科目群・区分の条件を満たさなければならない（下記の単位には、教職・資格関係科目は含まない）。

科目群・区分		卒業所要単位数			
学部 共通 基礎 科目	基礎演習	選択		34 単位以上	
	視野形成科目	B群から選択必修	4 単位以上		
	社会調査	選択			
	情報教育基礎	選択			
	保健体育科目	スポーツ総合1	必修		2 単位
		スポーツ総合2	選択		
	外国語	Basic English1・2	必修		4 単位
諸外国語初級 A・B		必修	4 単位		
学科 入門 科目	「〇〇学への招待」(所属学科)	選択必修	4 単位以上	14 単位以上	
	「〇〇学入門 A・B」(所属学科)				
	コース入門科目 (所属学科)	選択必修	10 単位以上		
	「〇〇学への招待」(他学科)				
	「〇〇学入門 A・B」(他学科)				
	コース入門科目 (他学科)				
コース 専門 科目	①環境政策コース [EPC] ②企業と社会コース [BSC] ③コミュニティデザインコース [CDC] ④人間・社会コース [HSC] ⑤メディア社会コース [MSC] ⑥メディア文化コース [MCC] ⑦国際社会コース [ISC] ※	【主専攻】 主専攻のコース：18 単位以上 【副専攻】※ コースを副専攻に選択した場合 ：14 単位以上	32 単位以上	138 単位 以上	
学部 共通 専門 科目	社会科学基礎理論 [BT]	選択必修	8 単位以上	38 単位以上	
	①政策リサーチプログラム [PLP]				
	②公務員プログラム [PSP]				
	③社会学総合プログラム [GSP]				
	④社会調査プログラム [SRP]				
	⑤情報教育プログラム [ICP]				
	⑥メディアリサーチプログラム [MLP]				
	⑦Advanced English Program [AEP]				
	⑧諸外国語中級プログラム				
諸外国語選択科目	選択				
演習	選択				
自由選択科目 (他学部公開科目含む) : 科目群に関わらず履修できる科目			20 単位以上		

※主専攻コースのほかに、それ以外のコースまたはプログラムから副専攻を1つ以上修得することが卒業要件となる。自分が選択した副専攻でなくても、14単位以上単位を修得しているコース・プログラム（主専攻コース以外）があれば、副専攻の卒業要件を満たすことになる（下記※の場合を除く）。

※国際社会コースを主専攻として選択した場合は、Advanced English Program か諸外国語中級プログラムのいずれか一つを副専攻としなければならない。

※SSI基礎科目（14単位）は、学部共通基礎科目もしくは学科入門科目に充当される。

※社会学部で開講のSSI専門科目については、それぞれ学部共通基礎科目、コース専門科目、学部共通専門科目に充当し、社会学部開講以外のSSI専門科目は、自由選択科目とする。

2013年度以前入学者対象

※4年次の卒業要件は以下のとおりである。

- (1) 通算在学年数が3.0年で第4年次へ進級した者
(1～3年次までの間に留年を経験したことがない者)

第4年次においては8単位以上を修得しなければならない。なお、その8単位は演習3(卒業論文)で修得するか、最低4単位以上を通年または秋学期科目で修得しなければならない(教職・資格科目、「諸外国語中級7・8」の単位はこれに含めない)。

※なお、通算在学年数が3.0年で4年次に進級した時点で年間休学した場合(=通算在学年数は3.0年のまま)は学年末に「休学による留年」となるが、休学期間は在学年数に含まれないため、休学終了後の4年次における卒業要件は上記(1)の規定を適用する。

- (2) 通算在学年数が3.5年以上の第4年次

- ① 前年度終了時点で卒業所要単位をすべて満たしている場合

前年度終了時点で卒業所要単位をすべて満たしている場合は、第4年次の最終在学期においては2単位以上を修得しなければならない(教職・資格科目、「諸外国語中級7・8」の単位はこれに含めない)。

- ② 前年度終了時点で卒業所要単位を満たしていない場合

前年度終了時点で卒業所要単位を満たしていない場合は、第4年次の最終在学期においては卒業所要単位を満たさなければならない。この場合、最終在学期における修得単位数の条件は設けないこととする。

※卒業要件一覧表の「卒業所要単位数」を満たしている場合であっても、通算在学年数に応じた「4年次における卒業要件」を満たさない限り、卒業することはできない。
具体的適用例など詳細は社会学部履修要綱・時間割表を参照すること。

進級に関する規程（社会学部）

2013年度以前入学者対象

「学生が各年次所定の授業科目を履修しない場合、又は所定の単位を修得しない場合は別に定める規程により進級することはできない。」（学則第19条）

社会学部において進級するためには、年次ごとに下記の進級要件を満たさなければならない。

1単位でも不足したり、間違いがあると、進級できないので注意すること。

なお、下記の単位に教職・資格に関する科目は含まれない。

【1年次から2年次への進級要件】

1年次で通算して1年以上在籍し、1年次終了までに、**30単位以上**を修得しなければならない。

【2年次から3年次への進級要件】

2年次で通算して1年以上在籍し、以下に示す要件を全て満たさなければならない。

(1) 2年次終了までに、**60単位以上**を修得しなければならない。

(2) 学科入門科目より、**14単位以上**を修得しなければならない。

ただし、①自分が所属する学科の「〇〇学への招待」、「〇〇学入門A・B」より4単位以上、②自分が所属する学科の「〇〇学への招待」、「〇〇学入門A・B」、「コース入門科目」をあわせて合計10単位以上を修得しなければならない。

【3年次から4年次への進級要件】

3年次で通算して1年以上在籍し、以下に示す要件を全て満たさなければならない。

(1) 3年次終了までに、**98単位以上**を修得しなければならない。

(2) 「Basic English 1-I・II」「Basic English 2-I・II」および「必修外国語として登録した諸外国語初級A・B」について、各々4単位、**合計8単位**を修得しなければならない。

(3) 「スポーツ総合1-I・II」（合計2単位）を修得しなければならない。

(4) 社会科学基礎理論から**4単位以上**を修得しなければならない。

経営学部 卒業要件 (SS I)

2019年度以降入学者

区分・系列		単位規定			
		経営学科	経営戦略学科	市場経営学科	系列ごと単位規定と 下記要件を 同時に満たすこと
I L A C 科 目	0群	14 単位以上 (※注 1)			24 単位以上
	1群				
	2群				
	3群				
	4群				
	5群	2 単位以上 (※注 3)			
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位			44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上			
専 門 教 育 科 目	専門入門科目 (100 番台)	14 単位以上			56 単位以上
	専門入門科目 (200 番台)	4 単位以上			
	経営学科専門科目	16 単位以上	選択	選択	
	経営戦略学科専門科目	選択	16 単位以上	選択	
	市場経営学科専門科目	選択	選択	16 単位以上	
	グローバル・ビジネス/GBP科目	30 単位以下			
	特殊講義	選択			
	演習 (※注 4)				
情報関係科目					
連 環 科 目	法律関係科目	4 単位以上 (ただし、最高 8 単位まで)			
	総合科目				
	公開科目				
I L A C 科目、SS I 科目、専門教育科目・連環科目より自由に履修 ※注 5					8 単位以上
卒業所要単位合計 132 単位以上					

3 年次修了までに卒業所要単位を修得していても、4 年次に 8 単位以上 (教職・資格科目は除く) を修得しなければ卒業することはできません (※注 6 参照)

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 I L A C 科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II で履修してください。

ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 I L A C 科目 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 4 演習の単位は、入門演習 (1 年次) が 2 単位、一部の演習を除き演習 1/2 (2 年次)、演習 3/4 (3 年次)、演習 5/6 (4 年次) は各 3 単位以下です。

※注 5 I L A C 科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門教育科目・連環科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

※注 6 留学、休学、または留級などで 4 年次に複数年在籍した場合、4 年次であったときに修得した単位が年度をまたいで合計 8 単位以上あれば、「4 年次で 8 単位以上」の卒業要件を満たします。

経営学部 卒業要件 (SSI)

2017～2018年度以降入学者

区分・系列		単位規定			系列ごと単位規定と 下記要件を 同時に満たすこと
		経営学科	経営戦略学科	市場経営学科	
I L A C 科 目	0群	14 単位以上 (※注 1)			24 単位以上
	1群				
	2群				
	3群				
	4群				
	5群	2 単位以上 (※注 3)			
S S I 科 目	SSI 基礎科目	14 単位			44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上			
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目 A群	8 単位以上			56 単位以上
	専門基礎科目 B群	12 単位以上			
	経営学科専門科目	16 単位以上	選択	選択	
	経営戦略学科専門科目	選択	16 単位以上	選択	
	市場経営学科専門科目	選択	選択	16 単位以上	
	外国語経営学科目	選択 (ただし、最高 16 単位まで)			
	キャリアプログラム科目	選択			
	特殊講義				
	演習 (※注 4)				
情報関係科目					
連 環 科 目	法律関係科目	4 単位以上 (ただし、最高 8 単位まで)			
	総合科目				
	公開科目				
	交換留学生受け入れプログラム				
	グローバル・オープン科目				
	グローバル教育センター設置科目				
I L A C 科目、S S I 科目、専門教育科目・連環科目より自由に履修 ※注 5					8 単位以上
卒業所要単位合計 132 単位以上					

3 年次修了までに卒業所要単位を修得していても、4 年次に 8 単位以上 (教職・資格科目は除く) を修得しなければ卒業することはできません (※注 6 参照)

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 I L A C 科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は English1～2 の I および II、諸外国語は 1～2 の I および II で履修してください。
ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。

※注 3 I L A C 科目 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 4 演習の単位は、入門演習 I / II (1 年次) が各 2 単位、一部の演習を除き演習 1/2 (2 年次)、演習 3/4 (3 年次)、演習 5/6 (4 年次) は各 3 単位以下です。

※注 5 I L A C 科目 (24 単位以上)、S S I 科目 (44 単位以上) および専門教育科目・連環科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

※注 6 留学、休学、または留級などで 4 年次に複数年在籍した場合、4 年次であったときに修得した単位が年度をまたいでも合計 8 単位以上あれば、「4 年次で 8 単位以上」の卒業要件を満たします。

経営学部 卒業要件 (SS I)

2016年度以前入学者

区分・系列		単位規定			系列ごと単位規定と 下記要件を 同時に満たすこと
		経営学科	経営戦略学科	市場経営学科	
市ヶ谷基礎科目	0群	14 単位以上			24 単位以上
	1群				
	2群				
	3群	4 単位以上 (※注 1 参照)			
	4群				
5群	2 単位以上				
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位			44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上			
専門教育科目	専門基礎科目 A 群	8 単位以上			56 単位以上
	専門基礎科目 B 群	12 単位以上			
	経営学科専門科目	16 単位以上	選択	選択	
	経営戦略学科専門科目	選択	16 単位以上	選択	
	市場経営学科専門科目	選択	選択	16 単位以上	
	外国語経営学科目	選択 (ただし、最高 16 単位まで)			
	キャリアプログラム科目	選択			
	特殊講義				
	演習 (※注 2)				
情報関係科目					
連環科目	法律関係科目	4 単位以上 (ただし、最高 8 単位まで)			
	総合科目				
	公開科目				
	交換留学生受け入れプログラム				
	グローバル・オープン科目				
	グローバル教育センター設置科目				
市ヶ谷基礎科目、SS I 科目、専門教育科目・連環科目より自由に履修 ※注 3				8 単位以上	
卒業所要単位合計 132 単位以上					

3 年次修了までに卒業所要単位を修得していても、4 年次に 8 単位以上 (教職・資格科目は除く) を修得しなければ卒業することはできません (※注 4 参照)

- ※注 1 市ヶ谷基礎科目 4 群 (外国語科目) は選択した外国語の修得単位数が合計で 4 単位となるよう、英語は English1~2 の I および II、諸外国語は 1~2 の I および II で履修してください。
ただし、教職課程の履修を希望する者は英語科目を 2 単位以上修得する必要があります。対象科目については教職課程履修要綱で確認してください。
- ※注 2 演習の単位は、2016 年度以降入学者は入門演習 I / II (1 年次) が各 2 単位、一部の演習を除き演習 1/2 (2 年次)、演習 3/4 (3 年次)、演習 5/6 (4 年次) は各 3 単位以下です。2015 年度以前入学者は入門演習 I・II (1 年次) が 4 単位、一部演習を除き演習 1・2 (2 年次)、演習 3・4 (3 年次)、演習 5・6 (4 年次) は各 6 単位以下です。なお、2014 年度以前入学者は演習 1・2 (2 年次) は 4 単位以下です。
- ※注 3 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門教育科目・連環科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 132 単位以上必要なので、残りの 8 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。
- ※注 4 留学、休学、または留級などで 4 年次に複数年在籍した場合、4 年次であったときに修得した単位が年度をまたいでも合計 8 単位以上あれば、「4 年次で 8 単位以上」の卒業要件を満たします。

進級に関する規程（経営学部）

2012 年度以降入学者

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、基礎科目※注1，SSI科目，専門教育科目，連環科目を問わず20単位以上を修得しなければならない。

第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに次の単位を修得しなければならない。

(1) 基礎科目※注1，SSI科目，専門教育科目，連環科目を問わず48単位以上。

(2) 基礎科目※注1，SSI科目，専門教育科目，連環科目を問わず，2年次に8単位以上。

第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の単位を修得しなければならない。

(1) 基礎科目※注1のうち4群（外国語科目）及び5群（保健体育科目）の卒業所要単位

(2) 前号の単位を含め、基礎科目※注1，SSI科目，専門教育科目，連環科目を問わず90単位以上。

(3) 基礎科目※注1，SSI科目，専門教育科目，連環科目を問わず，3年次に8単位以上。

第4条 前条における不足単位数がある場合は、次により第3年次の当該年度末に再試験を受けることができる。

(※下記注2を参照)

(1) 基礎科目※注1と専門教育科目，連環科目をあわせて2科目まで（実験・実習・実技・演習科目を除く）。

第5条 第4年次においては、8単位以上を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場も同じ扱いとする。

第6条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

(注1) 2017年度以降入学生は、「ILAC科目」として履修します。

(注2) 第4条の再試験の対象となる具体的な科目は、経営学部履修の手引きを参照してください。

2019年度以降入学者 (学生証番号の頭2桁が「19」以降の方)

区分・系列		単位規定			
I L A C 科 目	0群 (導入)	4 単位以上 (「情報リテラシー I」 2 単位及び (「情報リテラシー II」 2 単位を含むこと)		0群～3群お よび 5 群 16 単位以上 26 単位 以上	
	1群 (人文分野)	選択 ※1			
	2群 (社会分野)				
	3群 (自然科学)				
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※2			
	4群 (外国語)	8 単位以上 ※3			8 単位以上
S S I 科 目	SS I 基礎科目	14 単位		44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上			
専 門 教 育 科 目	入門科目	38 単位以上 (「国際文化情報学入門」 4 単位を含むこ と)		62 単位以上	
	基幹科目				
	情報科目				
	言語科目				
	メディアコミュニケーション科目				
	専 攻 科 目				スタディ・アブロード科目群
					インターンシップ科目群
					情報文化コース科目群
表象文化コース科目群					
言語文化コース科目群					
国際社会コース科目群					
演習					
卒業研究					
自由科目	18 単位以上				
卒業所要単位合計 132 単位以上					

※1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※2 5群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※3 4群外国語科目の区分から、選択した言語で 8 単位以上修得してください。

※注 1) I L A C 科目 (26 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門教育科目 (62 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 132 単位になります。

国際文化学部 卒業・進級要件（SS I）

2017年度～2018年度入学者（学生証番号の頭2桁が「17」もしくは「18」の方）

区分・系列		単位規定		
I L A C 科 目	0群（導入）	4単位以上 （「情報リテラシーⅠ」2単位及び 「情報リテラシーⅡ」2単位を含むこと）	0群～3群および5群 16単位以上	
	1群（人文分野）	選択 ※1		
	2群（社会分野）			
	3群（自然科学）			
	5群（保健体育）	2単位以上 ※2		
	4群（外国語）	8単位以上 ※3	8単位以上	
S S I 科 目	SS I基礎科目	14単位	44単位以上	
	SS I専門科目	30単位以上		
専 門 教 育 科 目	入門科目	4単位以上 （「国際文化情報学入門」4単位を含むこと）	56単位以上	
	基幹科目			
	情報科目			
	言語科目			
	メディアコミュニケーション科目			
	専 攻 科 目			スタディ・アブロード科目群
				インターンシップ科目群
				情報文化コース科目群
				表象文化コース科目群
言語文化コース科目群				
国際社会コース科目群				
演習 卒業研究				
自由科目	0～18単位 （18単位まで卒業所要単位として算入）			
卒業所要単位合計 126単位以上				

※1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※2 5群は、スポーツ総合演習（2単位）が必修です（スポーツ総合演習Sは選択科目ですので、ご注意ください）。

※3 4群外国語科目の区分から、選択した言語で8単位以上修得してください。

※注1) I L A C科目（24単位以上）、SS I科目（44単位以上）および専門教育科目（56単位以上）の最小必要単位数を合算すると124単位になります。ただし、卒業所要単位は126単位以上必要なので、残りの2単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

※注2) 自由科目は18単位を超えても履修可能ですが、卒業所要単位として算入されるのは18単位までです。

国際文化学部 卒業・進級要件 (SS I)

2015 年度～2016 年度入学者 (学生証番号の頭 2 桁が「15」もしくは「16」の方)

区分・系列		単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)	4 単位以上 (「情報リテラシー I」2 単位及び 「情報リテラシー II」2 単位を含むこと)	0 群～3 群および 5 群 16 単位以上	
	1 群 (人文分野)	選択		
	2 群 (社会分野)			
	3 群 (自然科学)			
	5 群 (保健体育)	2 単位以上		
4 群 (外国語)	8 単位以上	8 単位以上		
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上	
	SS I 専門科目	30 単位以上		
専門教育科目	入門科目	4 単位以上 (「国際文化情報学入門」4 単位を含むこと)	56 単位以上	
	基幹科目			
	情報科目			
	言語科目			
	メディアコミュニケーション科目			
	専攻科目			スタディ・アブロード科目群
				インターンシップ科目群
				情報文化コース科目群
				表象文化コース科目群
				言語文化コース科目群
国際社会コース科目群				
演習				
卒業研究				
自由科目	0～18 単位 (18 単位まで卒業所要単位として算入)			
卒業所要単位合計 126 単位以上				

※注 1) 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SS I 科目 (44 単位以上) および専門教育科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になります。ただし、卒業所要単位は 126 単位以上必要なので、残りの 2 単位分は各科目群より自由に履修し、単位を修得してください。

※注 2) 自由科目は 18 単位を超えても履修可能ですが、卒業所要単位として算入されるのは 18 単位までです。

進級に関する規程（国際文化学部）

2012年度以降入学者

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに16単位以上を修得しなければならない。

第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに46単位以上を修得しなければならない。

第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の単位を修得しなければならない。

（1）基礎科目※のうち4群及び5群の卒業所要単位を含めて86単位以上。

第4条 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

第5条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行なう。

※2017年度以降入学者は、ILAC科目という名称で履修します。

2017 年度以降入学者 (学生証番号の頭 2 桁が「17」・「18」・「19」の方)

区分・系列			単位規定		
I L A C 科 目	0 群 (導入)		14 単位以上 ※注 1		24 単位以上
	1 群 (人文分野)				
	2 群 (社会分野)				
	3 群 (自然科学)				
	4 群 (外国語)				
5 群 (保健体育)		4 単位以上		2 単位以上 ※注 2	
S S I 基礎科目		14 単位			44 単位以上
S S I 専門科目		30 単位以上			
リ テ ラ シ ー 科 目	フレッシュ マン科目	人間環境学への招待 基礎演習	必修 2 単位		6 単 位 以 上
	スキルアップ 科目	情報処理 アクティブ語学 テーマ別英語	選択必修 2 単位以上		
専 門 科 目 展 開 科 目	法律・政治関連科目群		コース共通科目か ら 8 単位以上かつ, コースコア科目か ら 12 単位以上 ※注 3	基幹・政策科目ご とおよび科目群ご との履修制限はあり ません	56 単 位 以 上
	経済・経営関連科目群				
	社会・地域関連科目群				
	人文科学関連科目群				
	自然科学関連科目群				
	環境総合科目				
	「人間環境セミナー」		選択必修 6 単位以上	修得上限なし	
	「フィールドスタディ」		選択 (修得上限 20 単位)	修得上限 8 単位	
	「キャリアチャレンジ」			修得上限 6 単位	
	「研究会」				
	「卒業論文」	「研究会修了論文」 「コース修了論文」	選択 (修得上限 2 単位)		
	「人間環境特論」		選択 (修得上限なし)		
	「インターンシップ」※注 4		選択 (修得上限 4 単位)		
	「スタディ・アブロード」		選択 (修得上限 16 単位)		
	「SCOPE 科目」		選択 (修得上限 12 単位)		
「自由科目」※注 5		選択 (修得上限 20 単位)			
卒業所要単位合計 130 単位以上					

※注 1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※注 2 5 群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目ですので、ご注意ください)。

※注 3 2 年次より下記 5 つのコースのうち、いずれか 1 つのコースに所属します。

「サステナブル経済・経営」「ローカル・サステナビリティ」「グローバル・サステナビリティ」
「人間文化」「環境サイエンス」

※注 4 「インターンシップ」は、2018 年度末で廃止となりました。

※注 5 展開科目の「自由科目」には「他学部公開科目」、「ESOP 科目」、「ERP 科目」、
「国際ボランティア」、「国際インターンシップ」、「短期語学研修」、「グローバル・オープン科目」が該当
します。

2016 年度入学者 (学生証番号の頭 2 桁が「16」の方)

区分・系列			単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)		14 単位以上	24 単位以上	
	1 群 (人文分野)				
	2 群 (社会分野)				
	3 群 (自然科学)				
	4 群 (外国語)				
	5 群 (保健体育)				
S S I 科目	S S I 基礎科目		14 単位	44 単位以上	
	S S I 専門科目		30 単位以上		
リテラシー科目	フレッシュマン科目	人間環境学への招待 基礎演習	必修 2 単位 必修 2 単位	6 単位以上	
	スキルアップ科目	情報処理 アクティブ語学 テーマ別英語	選択必修 2 単位以上		
専門科目	展開科目	法律・政治関連科目群	コース共通科目から 8 単位以上かつ、 コースコア科目から 12 単位以上 ※注 1	基幹・政策科目ごと および科目群ごとの履修制限はありません	56 単位以上
		経済・経営関連科目群			
		社会・地域関連科目群			
		人文科学関連科目群			
		自然科学関連科目群			
		環境総合科目			
		「人間環境セミナー」	選択必修 6 単位以上	修得上限なし	
		「フィールドスタディ」		修得上限 8 単位	
		「キャリアチャレンジ」		修得上限 6 単位	
		「研究会」	選択 (修得上限 20 単位)		
		「卒業論文」	「研究会修了論文」	選択 (修得上限 2 単位)	
			「コース修了論文」		
		「人間環境特論」	選択 (修得上限なし)		
		「インターンシップ」	選択 (修得上限 4 単位)		
		「スタディ・アブロード」	選択 (修得上限 16 単位)		
「SCOPE 科目」	選択 (修得上限 12 単位)				
「自由科目」※注 2	選択 (修得上限 20 単位)				
卒業所要単位合計 130 単位以上					

※注 1 2 年次より下記 5 つのコースのうち、いずれか 1 つのコースに所属します。

「サステイナブル経済・経営」「ローカル・サステイナビリティ」「グローバル・サステイナビリティ」
「人間文化」「環境サイエンス」

※注 2 展開科目の「自由科目」には「他学部公開科目」、「E S O P 科目」、「E R P 科目」、
「国際ボランティア」、「国際インターンシップ」、「短期語学研修」、「グローバル・オープン科目」が該当
します。

2014 年度・2015 年度入学者 (学生証番号の頭 2 桁が「14」・「15」の方)

区分・系列			単位規定		
市ヶ谷基礎科目	0 群 (導入)		14 単位以上	24 単位以上	
	1 群 (人文分野)				
	2 群 (社会分野)				
	3 群 (自然科学)				
	4 群 (外国語)				
5 群 (保健体育)		2 単位以上			
S S I 科目	S S I 基礎科目		14 単位	44 単位以上	
	S S I 専門科目		30 単位以上		
リテラシー科目	フレッシュマン科目	人間環境学への招待	必修 2 単位	6 単位以上	
		基礎演習	必修 2 単位		
スキルアップ科目	スキルアップ科目	情報処理	選択必修 2 単位以上	6 単位以上	
		アクティブ語学 テーマ別英語			
専門科目 展開科目	「人間環境セミナー」		選択必修 6 単位以上	修得上限なし	62 単位以上
	「フィールドスタディ」			修得上限 8 単位	
	「キャリアチャレンジ」			修得上限 6 単位	
	法律・政治関連科目群		基幹・政策科目ごとおよび科目群ごとの履修制限はありません	56 単位以上	
	経済・経営関連科目群				
	社会・地域関連科目群				
	人文科学関連科目群				
	自然科学関連科目群				
	環境総合科目				
	「研究会」				
	「研究会修了論文」		選択 (修得上限 2 単位)		
	「コース修了論文」		選択 (修得上限 2 単位)		
	「人間環境特論」		選択 (修得上限なし)		
	「インターンシップ」		選択 (修得上限 4 単位)		
	「スタディ・アブロード」		選択 (修得上限 16 単位)		
「SCOPE 科目」		選択 (修得上限 12 単位)			
「自由科目」※注 1		選択 (修得上限 20 単位)			
卒業所要単位合計 130 単位以上					

※注 1 展開科目の「自由科目」には「他学部公開科目」、「E S O P 科目」、「E R P 科目」、「国際ボランティア」、「国際インターンシップ」、「短期語学研修」、「グローバル・オープン科目」が該当します。

進級に関する規定（人間環境学部）

2012年度以降入学者

- 第1条** 第1年次より第2年次へ進級する者は、8単位以上を修得しなければならない。
- 第2条** 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次に4単位以上を修得しなければならない。ただし、人間環境学への招待及び基礎演習は修得していなければならない。
- 第3条** 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の単位を修得しなければならない。
- (1) 市ヶ谷基礎科目※のうち4群（必修）、5群及びスキルアップ科目の卒業所要単位
 - (2) 前号の単位を含め81単位以上
- 第4条** 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。
- 第5条** 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

（注）4年次において卒業所要単位の不足を補うための「卒業再試験」は実施していません。

※2017年度以降入学者は、「ILAC科目」として履修します。

福祉コミュニティ学科

2018年度以降入学者

区分・系列		単位規定	
総合 教育 科目	学部共通科目	22 単位以上	30 単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目		
	言語コミュニケーション科目 (第一言語群)	8 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
学部 専門 科目	専門基礎科目	8 単位以上	50 単位以上
	専門基幹科目	10 単位以上	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目	規定せず	
	自由科目※	20 単位以内	
卒業所要単位合計 124 単位以上			

※「自由科目」にて認定する科目は以下のとおりです。

- ①他学部公開科目 (16 単位以内), ②短期語学研修 (上限規定せず), ③国際インターンシップ,
④国際ボランティア, ⑤グローバル・オープン科目 (上限規定せず), ⑥成績優秀者他学部科目履修 (上限規定せず)

○進級に関する規程

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに20単位以上を修得していなければならない。ただし、入学前に他大学等で修得した単位を卒業所要単位として教授会に認定された場合は、認定単位の他に本学において4単位以上修得したうえで前記要件を満たしていなければならない。

第2条 第2年次から第3年次へ進級する者は、第2年次修了までに40単位以上を修得していなければならない。

第3条 第3年次から第4年次へ進級する者は、第3年次修了までに第2項又は第3項に規定する各学科の修了要件を満たしたうえで、80単位以上を修得していなければならない。ただし、SS I 所属学生については、各項第2号及び第3号を修了要件としないものとする。

2 福祉コミュニティ学科の第3年次修了要件

- | | |
|---------------------------|------|
| (1) 言語コミュニケーション科目 (第一言語群) | 8 単位 |
| (2) 基礎演習 I・II | 4 単位 |
| (3) 専門演習 IA・IB | 4 単位 |
| (4) 専門基礎科目 | 6 単位 |
| (5) 専門基幹科目 | 8 単位 |

第4条 第4年次においては、4単位以上(※)を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

※なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アブロード認定単位、外国語試験認定単位は、この「4単位以上」に含まれません。

臨床心理学科

2018 年度以降入学者

区分・系列		単位規定	
総合 教育 科目	学部共通科目	22 単位以上 * 「心理学統計法」「心理データ解析」は必修	30 単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目		
	言語コミュニケーション科目 (第一言語群)	8 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
学部 専門 科目	専門基礎科目	8 単位必修	50 単位以上
	専門基幹科目	16 単位以上 * 「臨床心理学概論」「心理学的支援法」 「心理療法」「心理的アセスメント」は必修	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目	規定せず	
	自由科目※	20 単位以内	
卒業所要単位合計 124 単位以上			

※「自由科目」にて認定する科目は以下のとおりです。

- ①他学部公開科目 (16 単位以内)、②短期語学研修 (上限規定せず)、③国際インターンシップ、
④国際ボランティア、⑤グローバル・オープン科目 (上限規定せず)、⑥成績優秀者他学部科目履修 (上限規定せず)

○進級に関する規程

第 1 条 第 1 年次から第 2 年次へ進級する者は、第 1 年次修了までに 20 単位以上を修得していなければならない。ただし、入学前に他大学等で修得した単位を卒業所要単位として教授会に認定された場合は、認定単位の他に本学において 4 単位以上修得したうえで前記要件を満たしていなければならない。

第 2 条 第 2 年次から第 3 年次へ進級する者は、第 2 年次修了までに 40 単位以上を修得していなければならない。

第 3 条 第 3 年次から第 4 年次へ進級する者は、第 3 年次修了までに第 2 項又は第 3 項に規定する各学科の修了要件を満たしたうえで、80 単位以上を修得していなければならない。ただし、SS I 所属学生については、各項第 2 号及び第 3 号を修了要件としないものとする。

3 臨床心理学科の第 3 年次修了要件

- | | |
|---------------------------|-------|
| (1) 言語コミュニケーション科目 (第一言語群) | 8 単位 |
| (2) 基礎演習 I・II | 4 単位 |
| (3) 専門演習 IA・IB | 4 単位 |
| (4) 心理学統計法 | 2 単位 |
| (5) 心理データ解析 | 2 単位 |
| (6) 専門基礎科目 | 6 単位 |
| (7) 専門基幹科目 | 12 単位 |

第 4 条 第 4 年次においては、4 単位以上 (※) を修得しなければならない。また、第 3 年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

※なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アブロード認定単位、外国語試験認定単位は、この「4 単位以上」に含まれません。

福祉コミュニティ学科

2017 年度入学者

区分・系列		単位規定	
総合教育科目	学部共通科目	22 単位以上	30 単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目		
	言語コミュニケーション科目	8 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
学部専門科目	専門基礎科目	8 単位以上	50 単位以上
	専門基幹科目	10 単位以上	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目	規定せず	
	自由科目※	20 単位以内	
卒業所要単位合計 124 単位以上			

※「自由科目」にて認定する科目は以下のとおりです。

- ①他学部公開科目 (16 単位以内)、②短期語学研修 (上限規定せず)、③国際インターンシップ、
④国際ボランティア、⑤グローバル・オープン科目 (上限規定せず)、⑥成績優秀者他学部科目履修 (上限規定せず)

○進級に関する規程

第 1 条 第 1 年次から第 2 年次へ進級する者は、第 1 年次修了までに 20 単位以上を修得していなければならない。ただし、入学前に他大学等で修得した単位を卒業所要単位として教授会に認定された場合は、認定単位の他に本学において 4 単位以上修得したうえで前記要件を満たしていなければならない。

第 2 条 第 2 年次から第 3 年次へ進級する者は、第 2 年次修了までに 40 単位以上を修得していなければならない。

第 3 条 第 3 年次から第 4 年次へ進級する者は、第 3 年次修了までに第 2 項又は第 3 項に規定する各学科の修了要件を満たしたうえで、80 単位以上を修得していなければならない。ただし、SS I 所属学生については、各項第 2 号及び第 3 号を修了要件としないものとする。

2 福祉コミュニティ学科の第 3 年次修了要件

- (1) 言語コミュニケーション科目 8 単位
(2) 基礎演習 I・II 4 単位
(3) 専門演習 IA・IB 4 単位
(4) 専門基礎科目 6 単位
(5) 専門基幹科目 8 単位

第 4 条 第 4 年次においては、4 単位以上 (※) を修得しなければならない。また、第 3 年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

※なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アブロード認定単位、外国語試験認定単位は、この「4 単位以上」に含まれません。

臨床心理学科

2017 年度入学者

区分・系列		単位規定	
総合教育科目	学部共通科目	22 単位以上 *「心理データ解析Ⅰ・Ⅱ」は必修	30 単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目		
	言語コミュニケーション科目	8 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
学部専門科目	専門基礎科目	8 単位以上	50 単位以上
	専門基幹科目	16 単位以上 *「発達心理学」「心理療法Ⅰ」「臨床心理学Ⅰ」「心理検査Ⅰ」は必修	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目	規定せず	
	自由科目※	20 単位以内	
卒業所要単位合計 124 単位以上			

※「自由科目」にて認定する科目は以下のとおりです。

- ①他学部公開科目 (16 単位以内)、②短期語学研修 (上限規定せず)、③国際インターンシップ、
④国際ボランティア、⑤グローバル・オープン科目 (上限規定せず)、⑥成績優秀者他学部科目履修 (上限規定せず)

○進級に関する規程

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに20単位以上を修得していなければならない。ただし、入学前に他大学等で修得した単位を卒業所要単位として教授会に認定された場合は、認定単位の他に本学において4単位以上修得したうえで前記要件を満たしていなければならない。

第2条 第2年次から第3年次へ進級する者は、第2年次修了までに40単位以上を修得していなければならない。

第3条 第3年次から第4年次へ進級する者は、第3年次修了までに第2項又は第3項に規定する各学科の修了要件を満たしたうえで、80単位以上を修得していなければならない。ただし、SS I 所属学生については、各項第2号及び第3号を修了要件としないものとする。

3 臨床心理学科の第3年次修了要件

- | | |
|-------------------|-------|
| (1) 言語コミュニケーション科目 | 8 単位 |
| (2) 基礎演習Ⅰ・Ⅱ | 4 単位 |
| (3) 専門演習ⅠA・ⅠB | 4 単位 |
| (4) 心理データ解析Ⅰ・Ⅱ | 4 単位 |
| (5) 専門基礎科目 | 6 単位 |
| (6) 専門基幹科目 | 12 単位 |

第4条 第4年次においては、4単位以上(※)を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

※なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アブロード認定単位、外国語試験認定単位は、この「4単位以上」に含まれません。

福祉コミュニティ学科

2014年度～2016年度入学者

区分・系列		単位規定	
総合教育科目	学部共通科目	22 単位以上 *「スポーツ総合 (I・II)」は必修	30 単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目		
	言語コミュニケーション科目	8 単位以上	
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
学部専門科目	専門基礎科目	8 単位以上	50 単位以上
	専門基幹科目	10 単位以上	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目	規定せず	
	自由科目※	20 単位以内	
卒業所要単位合計 124 単位以上			

※「自由科目」にて認定する科目は以下のとおりです。

- ①他学部公開科目 (16 単位以内), ②短期語学研修 (上限規定せず), ③国際インターンシップ,
④国際ボランティア, ⑤グローバル・オープン科目 (上限規定せず), ⑥成績優秀者他学部科目履修 (上限規定せず)

○進級に関する規程

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに20単位以上を修得していなければならない。ただし、入学前に他大学等で修得した単位を卒業所要単位として教授会に認定された場合は、認定単位の他に本学において4単位以上修得したうえで前記要件を満たしていなければならない。

第2条 第2年次から第3年次へ進級する者は、第2年次修了までに40単位以上を修得していなければならない。

第3条 第3年次から第4年次へ進級する者は、第3年次修了までに第2項又は第3項に規定する各学科の修了要件を満たしたうえで、80単位以上を修得していなければならない。

2 福祉コミュニティ学科の第3年次修了要件

- (1) 言語コミュニケーション科目 8 単位
(2) スポーツ総合 2 単位
(3) 基礎演習 4 単位
(4) 専門基礎科目 6 単位
(5) 専門基幹科目 8 単位

ただし、SS I 所属学生については、第3号を修了要件としないものとする。

第4条 第4年次においては、4単位以上(※)を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

※なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アブロード認定単位、外国語試験認定単位は、この「4単位以上」に含まれません。

臨床心理学科

2014年度～2016年度入学者

区分・系列		単位規定	
総合 教育 科目	学部共通科目	22 単位以上 * 「スポーツ総合 (I・II)」 「心理データ解析 I・II」 は必修	30 単位以上
	視野形成科目		
	情報・調査系科目	8 単位以上	
	言語コミュニケーション科目		
SS I 科目	SS I 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SS I 専門科目	30 単位以上	
学部 専門 科目	専門基礎科目	8 単位以上	50 単位以上
	専門基幹科目	16 単位以上 * 「発達心理学」「心理療法 I」「臨床心理学 I」「心理検査法 I」 は必修	
	専門展開科目	規定せず	
	演習・実習科目	規定せず	
	自由科目※	20 単位以内	
卒業所要単位合計 124 単位以上			

※ 「自由科目」にて認定する科目は以下のとおりです。

- ①他学部公開科目 (16 単位以内), ②短期語学研修 (上限規定せず), ③国際インターンシップ,
④国際ボランティア, ⑤グローバル・オープン科目 (上限規定せず), ⑥成績優秀者他学部科目履修 (上限規定せず)

○進級に関する規程

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに20単位以上を修得していなければならない。ただし、入学前に他大学等で修得した単位を卒業所要単位として教授会に認定された場合は、認定単位の他に本学において4単位以上修得したうえで前記要件を満たしていなければならない。

第2条 第2年次から第3年次へ進級する者は、第2年次修了までに40単位以上を修得していなければならない。

第3条 第3年次から第4年次へ進級する者は、第3年次修了までに第2項又は第3項に規定する各学科の修了要件を満たしたうえで、80単位以上を修得していなければならない。

3 臨床心理学科の第3年次修了要件

- | | |
|-------------------|-------|
| (1) 言語コミュニケーション科目 | 8 単位 |
| (2) スポーツ総合 | 2 単位 |
| (3) 基礎演習 | 4 単位 |
| (4) 専門演習 I | 4 単位 |
| (5) 心理データ解析 I・II | 4 単位 |
| (6) 専門基礎科目 | 6 単位 |
| (7) 専門基幹科目 | 12 単位 |

ただし、SS I 所属学生については、第3号及び第4号を修了要件としないものとする。

第4条 第4年次においては、4単位以上(※)を修得しなければならない。また、第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

※なお、教職・資格科目、認定課外実習認定単位、スタディ・アブロード認定単位、外国語試験認定単位は、この「4単位以上」に含まれません。

2017年度以降入学者 (学生証番号の頭2桁が「17」以降の方)

区分・系列		単位規定	
ILAC 科目	0群 (導入)	14 単位以上 ※1	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)		
	5群 (保健体育)	2 単位以上 ※2	
SSI 科目	SSI 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上	
専門 科目	基幹科目	規定せず	56 単位以上
	展開科目		
	関連科目		
	演習科目		
	自由科目 ※4		
卒業所要単位合計 132 単位以上 ※3			

※1 基盤科目、リベラルアーツ科目のいずれも履修可能です。

※2 5群は、スポーツ総合演習 (2 単位) が必修です (スポーツ総合演習 S は選択科目
ですので、ご注意ください)。

※3 ILAC 科目 (24 単位以上)、SSI 科目 (44 単位以上)、専門科目 (56 単位以上) の最小必要
単位数を合算すると 124 単位になりますが、卒業所要単位は 132 単位以上必要です。132-124
=8 単位分は ILAC 科目、SSI 科目、専門科目から自由に履修し、単位修得してください。

※4 16 単位まで単位修得可能です。

2012年度～2016年度入学者 (学生証番号の頭2桁が「12」～「16」の方)

区分・系列		単位規定	
市ヶ谷基礎科目	0群 (導入)	14 単位以上	24 単位以上
	1群 (人文分野)		
	2群 (社会分野)		
	3群 (自然科学)		
	4群 (外国語)		
	5群 (保健体育)	2 単位以上	
SSI科目	SSI 基礎科目	14 単位	44 単位以上
	SSI 専門科目	30 単位以上	
専門科目	基幹科目	規定せず	56 単位以上
	展開科目		
	関連科目		
	演習科目		
	自由科目 ※2		
卒業所要単位合計 132 単位以上 ※1			

- ※1 市ヶ谷基礎科目 (24 単位以上)、SSI 科目 (44 単位以上)、専門科目 (56 単位以上) の最小必要単位数を合算すると 124 単位になりますが、卒業所要単位は 132 単位以上必要です。132-124=8 単位分は市ヶ谷基礎科目、SSI 科目、専門科目から自由に履修し、単位修得してください。
- ※2 2012～2013 年度入学者は 8 単位まで、2014～2016 年度入学者は 16 単位まで単位修得可能です。

進級に関する規程（キャリアデザイン学部）

2017年度以降入学者

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに24単位以上修得していなければならない。

第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。ただし、SSI所属学生は第1号のみ適用する。

(1) 第2年次修了までに48単位以上

(2) 基幹科目の必修科目（キャリアデザイン学入門）（キャリア研究調査法入門）

第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。

(1) 市ヶ谷基礎科目※のうち4群及び5群の卒業所要単位

(2) 前号の単位を含め88単位以上

第4条 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。ただし、法政大学学則第49条第4項に定める場合を除く。

第5条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

※2017年度以降入学者は、ILAC科目という名称で履修します。

2012～2016年度入学者

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに24単位以上修得していなければならない。

第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。ただし、SSI所属学生は第1号のみ適用する。

(1) 第2年次修了までに48単位以上

(2) 基幹科目の必修科目（キャリアデザイン学入門）

第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。

(1) 市ヶ谷基礎科目のうち4群及び5群の卒業所要単位

(2) 前号の単位を含め88単位以上

第4条 第4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。ただし、法政大学学則第49条第4項に定める場合を除く。

第5条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

2019 年度以降入学者 (学生証番号の頭 2 桁が「19」以上の方)

【卒業所要単位】

		卒業所要単位数			
外国語科目	必修	4 単位 ※1	4 単位以上		
基盤科目	必修	2 単位	合計 14 単位以上		
	選択必修, 選択	12 単位以上			
SSI 科目	基礎科目	必修	14 単位	合計 44 単位以上	
	専門科目	選択	30 単位以上		
専門科目	導入科目	必修	7 単位		合計 124 単位以上
	基礎科目	必修	6 単位	合計 18 単位以上	
		選択必修	12 単位以上		
		選択	—		
	展開科目	必修	18 単位	合計 31 単位以上	
		選択必修	13 単位以上		
		選択	—		
特別科目	選択	—			

上記の表に記載された基準を満たさなかった場合、卒業が保留になります。

※1 英語 1～英語 4 の 4 科目 8 単位中、任意の 2 科目 4 単位

【進級要件】

3 年から 4 年	<ul style="list-style-type: none"> 卒業所要単位数のうち、90 単位以上を修得していること (「ゼミナール 1」「ゼミナール 2」「プロジェクト実習・制作 1」「プロジェクト実習・制作 2」を含む)
-----------	---

デザイン工学部システムデザイン学科 卒業要件（SSI）

2011年度～18年度入学者（学生証番号の頭2桁が「11」～「18」の方）

【卒業所要単位】

		卒業所要単位数			
外国語科目		必修	4単位 ※1	4単位以上	合計124単位以上
基盤科目		必修	2単位	合計12単位以上	
		選択必修, 選択	10単位以上		
SSI科目	基礎科目	必修	14単位	合計44単位以上	
	専門科目	選択	30単位以上		
専門科目		必修	31単位	合計64単位以上	
		選択必修, 選択 特別科目	33単位以上		

上記の表に記載された基準を満たさなかった場合、卒業が保留になります。

※1 英語1～英語4の4科目8単位中、任意の2科目4単位

【進級要件】

3年から4年	卒業所要単位数のうち、90単位以上を修得していること
--------	----------------------------

SSI科目一覧

2019年度以降入学者

SSI基礎科目(14単位必修)※修得しないと卒業できません。担当教員はSSI時間割で確認してください。

キャンパス	主催学部	科目名	単位 必修	配当年次	備考
市ヶ谷・多摩	SSI	スポーツ指導論	2	1~4	必修科目
		アスリート育成指導法	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅰ	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅱ	2	1~4	必修科目
		スポーツ心理学	2	1~4	必修科目
		トレーニング科学	2	1~4	必修科目
		スポーツ経営論	2	1~4	必修科目

SSI専門科目(30単位以上)

キャンパス	主催学部	科目名	単位 選択	配当年次	備考
市ヶ谷	SSI	スポーツ学入門	2	1~4	
		生涯健康論	2	2~4	
		トップアスリート論	2	2~4	
		スポーツ方法論	2	2~4	
		スポーツ文化論	2	1~4	*社会学部のSSI生は履修できません
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツメンタルトレーニング論	2	2~4	
		身体の測定と評価	2	1~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツビジネス論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツと法Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		アスリートのキャリアマネジメント	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		スポーツ産業論	2	2~4	
		スポーツマーケティング論	2	2~4	
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツ振興論	2	2~4	
		スポーツ情報戦略論	2	2~4	
	トレーニング理論と実践	2	2~4		
	スポーツ組織論	2	2~4		
	オリンピック・パラリンピックを考える	2	1~4		
	スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	各1	2~4		
	法学部 政治学科	マス・コミュニケーション論	4	1~4	*法学部政治学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		コミュニケーションⅠ・Ⅱ	各2	1~4	
	法学部 政治学科 国際政治学科	比較福祉国家Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	*法学部政治学科・国際政治学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		自治体論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
	文学部 心理学科	行政学 (※注1)	4	1~4	
		身体運動の心理と生理	2	2~4	*文学部心理学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		スポーツ心理学特講	2	2~4	
		精神保健学Ⅰ・Ⅱ	各2	3~4	
		脳の科学	2	3~4	
	発達心理学	2	3~4		
	経営学部	学習心理学	2	3~4	
		経営組織論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	*経営学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		人的資源管理Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		組織行動論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		経営社会学Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		戦略的意思決定論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		マーケティング・リサーチ論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		サービス・マネジメント論Ⅱ	各2	3~4	
	技術管理論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4		
	国際文化学部	異文化と身体表現	2	1~4	*国際文化学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		国際関係研究Ⅳ(他者イメージ論)	2	1~4	
		メディアと情報	2	1~4	
	人間環境学部	メディアと社会	2	1~4	
		衛生・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各2	2~4	*人間環境学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		環境健康論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
キャリアデザイン学部	教育社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	*キャリアデザイン学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません	
	若者の自立支援	2	1~4		
	外書講読A(発達・教育) (※注2)	2	2~4		

※ご注意

以下の科目は、日本スポーツ協会が管掌する「スポーツ指導者資格」習得のための科目とし、卒業要件外科目となります。注意してください。

2019年度以降、隔年開講となります。間違いないよう、注意してください。

キャンパス	科目名	単位	配当年次	備考
市ヶ谷	スポーツ実習(バレーボール)Ⅲ・Ⅳ	各1	3~4	2020年度開講・体育会バレーボール部所属学生のみ

キャンパス	主催学部	科目名	単位	配当年次	備考
			選択		
多摩	SSI	スポーツ方法論	2	2~4	*社会学部のSSI生はできません
		スポーツ文化論	2	1~4	
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		セルフケア論	2	1~4	
		スポーツ振興論	2	2~4	
		スポーツ産業論	2	2~4	
		スポーツ社会学	2	2~4	
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		トレーニング理論と実践	2	2~4	
		スポーツマーケティング論	2	2~4	
スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	各1	2~4			
多摩	経済学部	スポーツ経済論	2	3~4	*経済学部のSSI生は SSI専門科目として履修できません
		経済政策論A・B	各2	3~4	
		公共経済論A・B	各2	3~4	
		環境政策論A・B	各2	3~4	
		環境経済論A・B	各2	2~4	
		社会政策論A・B	各2	3~4	
		現代社会と情報A・B	各2	3~4	
	社会学部	身体論	2	1~4	*社会学部のSSI生は 社会学部履修要綱も併せて確認してください
		政治学理論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		日本経済論	2	2~4	
		憲法	2	2~4	
		民法(財産法)	2	2~4	
		ミクロ経済学	2	2~4	
		マクロ経済学	2	2~4	
		組織論	2	2~4	
		行政学	2	2~4	
		政策と制度	2	2~4	
		人的資源論	2	2~4	
		社会・イノベーション論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		中小企業論	2	2~4	
		地域産業論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		国際経営論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		経済政策論	2	2~4	
		エネルギー論	2	2~4	
		気候変動論	2	2~4	
		福祉社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		グローバル社会のローカリティ	2	2~4	
		市民運動論	2	2~4	
		地方自治論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		国際経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		社会学理論AⅠ・Ⅱ	各2	2~4	
		理論社会学	2	2~4	
		社会学史Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		歴史社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		数理社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		統計調査法	2	2~4	
		発達・教育の理論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		家族社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		臨床社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		社会心理学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		エイジングの社会学	2	2~4	
		社会教育概論Ⅰ・Ⅱ(※注3)	各2	2~4	
環境社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
現代農業・農村の社会学	2	2~4			
地域環境論	2	2~4			
文化社会学B	2	2~4			
表象文化論B	2	2~4			
文化人類学	2	2~4			
スポーツ文化論	2	2~4			
国際社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
国際関係論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			

※ご注意

以下の科目は、日本スポーツ協会が管掌する「スポーツ指導者資格」習得のための科目とし、**卒業要件外科目**となります。注意してください。
2019年度以降、隔年開講となります。間違いのないよう、注意してください。

キャンパス	科目名	単位	配当年次	備考
多摩	スポーツ実習(テニス)Ⅲ・Ⅳ	各1	3~4	2020年度休講・体育会テニス部所属学生のみ

キャンパス	主催学部	科目名	単位	配当年次	備考
			選択		
多摩	社会学部	国際社会と民族	2	2～4	*社会学部のSSI生は社会学部履修要綱も併せて確認してください
		開発とジェンダー	2	2～4	
		地域研究(ヨーロッパ)	2	2～4	
		地域研究(アジア)	2	2～4	
		メディアの思想	2	2～4	
		社会問題とメディア	2	2～4	
		認知科学	2	2～4	
		知的財産権法	2	2～4	
		メディア法	2	2～4	
		公共性と民主主義Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	
		メディア文化論	2	2～4	
		広告・消費文化論	2	2～4	
		広告・PR論	2	2～4	
		情報科学とコミュニケーション	2	2～4	
		認知映像論	2	2～4	
		ジャーナリズムの歴史と思想Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	
		消費者行動論	2	2～4	
		都市空間とデザインⅠ・Ⅱ	各2	2～4	
		メディアの歴史	2	2～4	
		マス・コミュニケーション論	2	2～4	
		メディアテクノロジーと社会	2	2～4	
		メディアテクノロジーと社会分析	2	2～4	
		デジタル情報環境論	2	2～4	
		デジタル情報環境分析	2	2～4	
		ソーシャルメディア論	2	2～4	
		ソーシャルメディア分析	2	2～4	
	現代福祉学部	企業と労働	2	1～4	*現代福祉学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません(総合教育科目となります)
		社会思想史	2	1～4	
		日本人の心理特性と文化	2	1～4	
		教育学	2	1～4	
		経営学	2	1～4	
		老年学	2	1～4	*現代福祉学部のSSI生を含めSSI生全員がSSI専門科目として履修できます
		NPO論	2	2～4	
		地域ツーリズム	2	2～4	
		コミュニティスポーツ	2	2～4	
		地域経営論	2	2～4	
都市とコミュニティ	2	2～4			
多文化ソーシャルワーク	2	2～4			
コミュニティアート	2	2～4			
農山村とコミュニティ	2	2～4			
老いの文化と福祉	2	2～4			
コミュニティ心理学	2	福2～心1～			

<履修上の注意>

【法学部主催科目】

※注1 人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【キャリアデザイン学部主催科目】

※注2 2010年度以降に入学した人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【社会学部主催科目】

※注3 現代福祉学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【その他共通事項】

※年度により、休講の科目もあります。休講科目はSSI時間割表で確認してください。

※履修登録科目を決める際は、所属学部の履修の手引き・講義概要をよく確認してください。

※旧科目を修得済の場合、現在開講している科目を履修できない場合があります。詳しくは主催学部の講義概要で確認してください。

※多摩キャンパス所属のSSI生は同曜日に多摩キャンパス開講科目と市ヶ谷開講科目を履修することはできません。詳しくは所属学部の履修要綱等で確認してください。

SSI科目一覧

2018年度入学者

SSI基礎科目(14単位必修)※修得しないと卒業できません。担当教員はSSI時間割で確認してください。

キャンパス	主催学部	科目名	単位 必修	配当年次	備考
市ヶ谷・多摩	SSI	スポーツ指導論	2	1~4	必修科目
		アスリート育成指導法	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅰ	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅱ	2	1~4	必修科目
		スポーツ心理学	2	1~4	必修科目
		トレーニング科学	2	1~4	必修科目
		スポーツ経営論	2	1~4	必修科目

SSI専門科目(30単位以上)

キャンパス	主催学部	科目名	単位 選択	配当年次	備考
市ヶ谷	SSI	スポーツ学入門	2	1~4	
		生涯健康論	2	2~4	
		トップアスリート論	2	2~4	
		スポーツ方法論	2	2~4	
		スポーツ文化論	2	1~4	* 社会学部のSSI生は履修できません
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツメンタルトレーニング論	2	2~4	
		身体の測定と評価	2	1~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツビジネス論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツと法Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		アスリートのキャリアマネジメント	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		スポーツ産業論	2	2~4	
		スポーツマーケティング論	2	2~4	
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツ振興論	2	2~4	
		スポーツ情報戦略論	2	2~4	
	トレーニング理論と実践	2	2~4		
	スポーツ組織論	2	2~4		
	オリンピック・パラリンピックを考える	2	1~4		
	スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	各1	2~4		
	法学部 政治学科	マス・コミュニケーション論	4	1~4	* 法学部政治学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
	法学部 政治学科 国際政治学科	比較福祉国家Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	* 法学部政治学科・国際政治学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		自治体論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
		行政学 (※注1)	4	1~4	
	文学部 心理学科	身体活動と健康 (2012年度以降入学者のみ)	2	2~4	* 文学部心理学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		スポーツ心理学特講	2	2~4	
		精神保健学Ⅰ・Ⅱ	各2	3~4	
		脳の科学	2	3~4	
		発達心理学	2	3~4	
		学習心理学	2	3~4	
	経営学部	経営組織論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	* 経営学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		人的資源管理Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		組織行動論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		人材育成論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		戦略的意思決定論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		マーケティング・リサーチⅠ/Ⅱ	各2	3~4	
		サービス・マネジメント論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
	非営利組織経営論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4		
	国際文化学部	異文化と身体表現	2	1~4	* 国際文化学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		他者イメージ論	2	1~4	
		メディアと情報	2	1~4	
		メディアと社会	2	1~4	
人間環境学部	衛生・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各2	2~4	* 人間環境学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません	
	環境健康論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4		
キャリアデザイン学部	教育社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	* キャリアデザイン学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません	
	若者の自立支援	2	1~4		
	外書講読A(発達・教育) (※注2)	2	2~4		

※ご注意

以下の科目は、日本スポーツ協会が管掌する「スポーツ指導者資格」習得のための科目とし、卒業要件外科目となります。注意してください。
2019年度以降、隔年開講となります。間違いのないよう、注意してください。

キャンパス	科目名	単位	配当年次	備考
市ヶ谷	スポーツ実習(バレーボール)Ⅲ・Ⅳ	各1	3~4	2020年度開講・体育会バレーボール部所属学生のみ

キャンパス	主催学部	科目名	単位	配当年次	備考
			選択		
多摩	SSI	スポーツ方法論	2	2~4	
		スポーツ文化論	2	1~4	*社会学部のSSI生は履修できません
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		セルフケア論	2	1~4	
		スポーツ振興論	2	2~4	
		スポーツ産業論	2	2~4	
		スポーツ社会学	2	2~4	
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		トレーニング理論と実践	2	2~4	
		スポーツマーケティング論	2	2~4	
スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	各1	2~4			
多摩	経済学部	スポーツ経済論	2	3~4	*経済学部のSSI生は SSI専門科目として履修できません
		経済政策論A・B	各2	3~4	
		公共経済論A・B	各2	3~4	
		環境政策論A・B	各2	3~4	
		環境経済論A・B	各2	2~4	
		社会政策論A・B	各2	3~4	
		現代社会と情報A・B	各2	3~4	
	社会学部	身体論	2	1~4	*社会学部のSSI生は 社会学部履修要綱も併せて確認してください
		政治学理論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		日本経済論	2	2~4	
		憲法	2	2~4	
		民法(財産法)	2	2~4	
		ミクロ経済学	2	2~4	
		マクロ経済学	2	2~4	
		組織論	2	2~4	
		行政学	2	2~4	
		政策と制度	2	2~4	
		人的資源論	2	2~4	
		社会・イノベーション論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		中小企業論	2	2~4	
		地域産業論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		国際経営論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		経済政策論	2	2~4	
		エネルギー論	2	2~4	
		気候変動論	2	2~4	
		福祉社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		グローバル社会のローカリティ	2	2~4	
		市民運動論	2	2~4	
		地方自治論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		国際経済論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		社会学理論AⅠ・Ⅱ	各2	2~4	
		理論社会学	2	2~4	
		社会学史Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		歴史社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
数理社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
統計調査法	2	2~4			
発達・教育の理論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
家族社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
臨床社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
社会心理学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
エイジングの社会学	2	2~4			
社会教育概論Ⅰ・Ⅱ(※注3)	各2	2~4			
環境社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
現代農業・農村の社会学	2	2~4			
地域環境論	2	2~4			
文化社会学B	2	2~4			
表象文化論B	2	2~4			
文化人類学	2	2~4			
スポーツ文化論	2	2~4			
国際社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			
国際関係論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4			

※ご注意

以下の科目は、日本スポーツ協会が管掌する「スポーツ指導者資格」習得のための科目とし、**卒業要件外科目**となります。注意してください。
2019年度以降、隔年開講となります。間違いないよう、注意してください。

キャンパス	科目名	単位	配当年次	備考
多摩	スポーツ実習(テニス)Ⅲ・Ⅳ	各1	3~4	2020年度休講・体育会テニス部所属学生のみ

キャンパス	主催学部	科目名	単位	配当年次	備考
			選択		
多摩	社会学部	国際社会と民族	2	2～4	*社会学部のSSI生は社会学部履修要綱も併せて確認してください
		開発とジェンダー	2	2～4	
		地域研究(ヨーロッパ)	2	2～4	
		地域研究(アジア)	2	2～4	
		メディアの思想	2	2～4	
		社会問題とメディア	2	2～4	
		認知科学	2	2～4	
		知的財産権法	2	2～4	
		メディア法	2	2～4	
		公共性と民主主義Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	
		メディア文化論	2	2～4	
		広告・消費文化論	2	2～4	
		広告・PR論	2	2～4	
		情報科学とコミュニケーション	2	2～4	
		認知映像論	2	2～4	
		ジャーナリズムの歴史と思想Ⅰ・Ⅱ	各2	2～4	
		消費者行動論	2	2～4	
		都市空間とデザインⅠ・Ⅱ	各2	2～4	
		メディアの歴史	2	2～4	
		マス・コミュニケーション論	2	2～4	
		メディアテクノロジーと社会	2	2～4	
	メディアテクノロジーと社会分析	2	2～4		
	デジタル情報環境論	2	2～4		
	デジタル情報環境分析	2	2～4		
	ソーシャルメディア論	2	2～4		
	ソーシャルメディア分析	2	2～4		
	現代福祉学部	企業と労働	2	1～4	*現代福祉学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません(総合教育科目となります)
		社会思想史	2	1～4	
		日本人の心理特性と文化	2	1～4	
		教育学	2	1～4	
		経営学	2	1～4	
		老年学	2	1～4	
		NPO論	2	2～4	*現代福祉学部のSSI生を含めSSI生全員がSSI専門科目として履修できます
地域ツーリズム		2	2～4		
コミュニティスポーツ		2	2～4		
地域経営論		2	2～4		
都市とコミュニティ		2	2～4		
多文化ソーシャルワーク		2	2～4		
コミュニティアート	2	2～4			
農山村とコミュニティ	2	2～4			
老いの文化と福祉	2	2～4			
コミュニティ心理学	2	福2～心1～			

<履修上の注意>

【法学部主催科目】

※注1 人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【キャリアデザイン学部主催科目】

※注2 2010年度以降に入学した人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【社会学部主催科目】

※注3 現代福祉学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【その他共通事項】

※年度により、休講の科目もあります。休講科目はSSI時間割表で確認してください。

※履修登録科目を決める際は、所属学部の履修の手引き・講義概要をよく確認してください。

※旧科目を修得済の場合、現在開講している科目を履修できない場合があります。詳しくは主催学部の講義概要で確認してください。

※多摩キャンパス所属のSSI生は同曜日に多摩キャンパス開講科目と市ヶ谷開講科目を履修することはできません。詳しくは所属学部の履修要綱等で確認してください。

SSI科目一覧

2017年度入学者

SSI基礎科目(14単位必修)※修得しないと卒業できません。担当教員はSSI時間割で確認してください。

キャンパス	主催学部	科目名	単位 必修	配当年次	備考
市ヶ谷・多摩	SSI	スポーツ指導論	2	1~4	必修科目
		アスリート育成指導法	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅰ	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅱ	2	1~4	必修科目
		スポーツ心理学	2	1~4	必修科目
		トレーニング科学	2	1~4	必修科目
		スポーツ経営論	2	1~4	必修科目

SSI専門科目(30単位以上)

キャンパス	主催学部	科目名	単位 選択	配当年次	備考
市ヶ谷	SSI	スポーツ学入門	2	1~4	
		生涯健康論	2	2~4	
		トップアスリート論	2	2~4	
		スポーツ方法論	2	2~4	
		スポーツ文化論	2	1~4	
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツメンタルトレーニング論	2	2~4	
		身体の測定と評価	2	1~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツビジネス論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツと法Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		アスリートのキャリアマネジメント	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		スポーツ産業論	2	2~4	
		スポーツマーケティング論	2	2~4	
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツ振興論	2	2~4	
		スポーツ情報戦略論	2	2~4	
	トレーニング理論と実践	2	2~4		
	スポーツ組織論	2	2~4		
	オリンピック・パラリンピックを考える	2	1~4		
	スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	各1	2~4		
	法学部 政治学科	マス・コミュニケーション論	4	1~4	* 法学部政治学科のSSI生は SSI専門科目として履修できません
		コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
	法学部 政治学科 国際政治学科	比較福祉国家Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	* 法学部政治学科・国際政治学科のSSI 生はSSI専門科目として履修できません
		自治体論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
		行政学 (※注1)	4	1~4	
	文学部 心理学科	身体活動と健康 (2012年度以降入学者のみ)	2	2~4	* 文学部心理学科のSSI生はSSI 専門科目として履修できません
		スポーツ心理学特講	2	2~4	
		精神保健学Ⅰ・Ⅱ	各2	3~4	
		脳の科学	2	3~4	
		発達心理学	2	3~4	
		学習心理学	2	3~4	
	経営学部	経営組織論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	* 経営学部のSSI生は SSI専門科目として履修できません
		人的資源管理Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		組織行動論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		人材育成論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		戦略的意思決定論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		マーケティング・リサーチⅠ/Ⅱ	各2	3~4	
		サービス・マネジメント論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
	非営利組織経営論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4		
	国際文化学部	異文化と身体表現	2	1~4	* 国際文化学部のSSI生は SSI専門科目として履修できません
		他者イメージ論	2	1~4	
		メディアと情報	2	1~4	
		メディアと社会	2	1~4	
	人間環境学部	衛生・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各2	2~4	* 人間環境学部のSSI生は SSI専門科目として履修できません
		環境健康論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
キャリアデザイン学部	教育社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	* キャリアデザイン学部のSSI生は SSI専門科目として履修できません	
	若者の自立支援	2	1~4		
	外書講読A(発達・教育) (※注2)	2	2~4		

※ご注意

以下の科目は、日本スポーツ協会が管掌する「スポーツ指導者資格」習得のための科目とし、卒業要件外科目となります。注意してください。

2019年度以降、隔年開講となります。間違いのないよう、注意してください。

キャンパス	科目名	単位	配当年次	備考
市ヶ谷	スポーツ実習(バレーボール)Ⅲ・Ⅳ	各1	3~4	2020年度開講・体育会バレーボール部所属学生のみ

キャンパス	主催学部	科目名	単位	配当年次	備考
			選択		
多摩	SSI	スポーツ方法論	2	2~4	
		スポーツ文化論	2	1~4	
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		セルフケア論	2	1~4	
		スポーツ振興論	2	2~4	
		スポーツ産業論	2	2~4	
		スポーツ社会学	2	2~4	*社会学部のSSI生は履修できません
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		トレーニング理論と実践	2	2~4	
	スポーツマーケティング論	2	2~4		
	スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ	各1	2~4		
	経済学部	人間とスポーツ(2015年度以前入学生)、スポーツ経済論(2016年度以降入学生)	2	3~4	
		経済政策論A・B	各2	3~4	
		公共経済論A・B	各2	3~4	
		環境政策論A・B	各2	3~4	
		環境経済論A・B	各2	2~4	
		社会政策論A・B	各2	3~4	
	現代社会と情報A・B	各2	3~4		
	社会学部	身体論	2	1~4	
		スポーツ社会学	2	2~4	
		発達・教育の理論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		社会教育概論Ⅰ・Ⅱ (※注3)	各2	2~4	
		社会心理学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		広告・消費文化論	2	2~4	
		広告・PR論	2	2~4	
		メディア文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		メディア社会論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		マス・コミュニケーション論	2	2~4	
		環境社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		地域社会学	2	2~4	
		コミュニティ形成論	2	2~4	
		日本経済論	2	2~4	
	国際経営論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4		
	福祉社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4		
	現代福祉学部	企業と労働	2	1~4	
		社会思想史	2	1~4	
		日本人の心理特性と文化	2	1~4	
		教育学	2	1~4	
		経営学	2	1~4	
		老年学	2	1~4	
		地域リハビリテーション	2	2~4	
		NPO論	2	2~4	
地域ツーリズム		2	2~4		
コミュニティスポーツ		2	2~4		
地域経営論		2	2~4		
都市とコミュニティ		2	2~4		
多文化ソーシャルワーク		2	2~4		
コミュニティアート		2	2~4		
農山村とコミュニティ		2	2~4		
老いの文化と福祉	2	2~4			
コミュニティ心理学	2	2~4			

※ご注意

以下の科目は、日本スポーツ協会が管掌する「スポーツ指導者資格」習得のための科目とし、**卒業要件外科目**となります。注意してください。
2019年度以降、隔年開講となります。間違いのないよう、注意してください。

キャンパス	科目名	単位	配当年次	備考
多摩	スポーツ実習(テニス)Ⅲ・Ⅳ	各1	3~4	2020年度休講・体育会テニス部所属学生のみ

<履修上の注意>

【法学部主催科目】

※注1 人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【キャリアデザイン学部主催科目】

※注2 2010年度以降に入学した人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【社会学部主催科目】

※注3 現代福祉学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【その他共通事項】

※年度により、休講の科目もあります。休講科目はSSI時間割表で確認してください。

※履修登録科目を決める際は、所属学部の履修の手引き・講義概要をよく確認してください。

※旧科目を修得済の場合、現在開講している科目を履修できない場合があります。詳しくは主催学部の講義概要で確認してください。

※多摩キャンパス所属のSSI生は同曜日に多摩キャンパス開講科目と市ヶ谷開講科目を履修することはできません。詳しくは所属学部の履修要綱等で確認してください。

SSI科目一覧

2016年度以前入学者

SSI基礎科目(14単位必修)※修得しないと卒業できません。担当教員はSSI時間割で確認してください。

キャンパス	主催学部	科目名	単位 必修	配当年次	備考
市ヶ谷・多摩	SSI	スポーツ指導論	2	1~4	必修科目
		アスリート育成指導法	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅰ	2	1~4	必修科目
		スポーツ医学Ⅱ	2	1~4	必修科目
		スポーツ心理学	2	1~4	必修科目
		トレーニング科学	2	1~4	必修科目
		スポーツ経営論	2	1~4	必修科目

SSI専門科目(30単位以上)

キャンパス	主催学部	科目名	単位 選択	配当年次	備考
市ヶ谷	SSI	スポーツ学入門	2	1~4	
		生涯健康論	2	2~4	
		トップアスリート論	2	2~4	
		スポーツ方法論 (旧:スポーツ方法論Ⅰ) (※注1)	2	2~4	
		スポーツ文化論	2	1~4	
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツメンタルトレーニング論	2	2~4	
		身体の測定と評価	2	1~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツビジネス論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツと法Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		アスリートのキャリアマネジメント	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		スポーツ産業論 (旧:スポーツ産業論Ⅰ) (※注2)	2	2~4	
		スポーツマーケティング論	2	2~4	
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツ振興論 (旧:スポーツ振興論Ⅰ) (※注1)	2	2~4	
		スポーツ情報戦略論	2	2~4	
	トレーニング理論と実践	2	2~4		
	スポーツ組織論 (旧:スポーツ組織論Ⅰ) (※注1)	2	2~4		
	身体運動学演習	2	2~4		
	オリンピック・パラリンピックを考える	2	1~4		
	法学部 政治学科	マス・コミュニケーション論	4	1~4	*法学部政治学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		コミュニケーションⅠ・Ⅱ	各2	1~4	
	法学部 政治学科	比較福祉国家Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	*法学部政治学科・国際政治学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
	国際政治学科	自治体論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4	
		行政学 (※注3)	4	1~4	
	文学部 心理学科	身体活動と健康 (2012年度以降入学者のみ)	2	2~4	
		スポーツ心理学特講	2	2~4	
		精神保健学Ⅰ・Ⅱ	各2	3~4	*文学部心理学科のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		脳の科学	2	3~4	
		発達心理学	2	3~4	
		学習心理学	2	3~4	
	経営学部	経営組織論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		人的資源管理Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		組織行動論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		人材育成論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		戦略的意思決定論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	*経営学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		マーケティング・リサーチⅠ/Ⅱ	各2	3~4	
		サービス・マネジメント論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
		非営利組織経営論Ⅰ/Ⅱ	各2	3~4	
	国際文化学部	異文化と身体表現	2	1~4	
		他者イメージ論	2	1~4	
		メディアと情報	2	1~4	*国際文化学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません
		メディアと社会	2	1~4	
人間環境学部	衛生・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各2	2~4	*人間環境学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません	
	環境健康論Ⅰ・Ⅱ	各2	1~4		
キャリアデザイン学部	教育社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4		
	若者の自立支援(旧:社会的弱者の自立支援)	2	1~4	*キャリアデザイン学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません	
	外書講読A(発達・教育)(旧:開発教育) (※注4)	2	2~4		

キャンパス	主催学部	科目名	単位	配当年次	備考
			選択		
多摩	SSI	スポーツ方法論 (旧:スポーツ方法論Ⅰ) (※注1)	2	2~4	
		スポーツ文化論	2	1~4	
		スポーツ栄養学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅰ	各2	2~4	
		コンディショニング科学Ⅱ	各2	2~4	
		スポーツ生理学	2	1~4	
		リーダーシップ論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		セルフケア論	2	1~4	
		スポーツ振興論 (旧:スポーツ振興論Ⅰ) (※注1)	2	2~4	
		スポーツ産業論 (旧:スポーツ産業論Ⅰ) (※注2)	2	2~4	
		スポーツ社会学	2	2~4	*社会学部のSSI生は履修できません
		アスリートキャリア論	2	2~4	
		スポーツメディア論	2	2~4	
		トレーニング理論と実践	2	2~4	
	スポーツマーケティング論	2	2~4		
	経済学部	人間とスポーツ(2015年度以前入学生)、スポーツ経済論(2016年度以降入学生)	2	3~4	
		経済政策論A・B(2015年度以前入学生は2年次より履修可)	各2	3~4	
		公共経済論A・B(2015年度以前入学生は2年次より履修可)	各2	3~4	
		環境政策論A・B	各2	3~4	
		環境経済論A・B	各2	2~4	
		社会政策論A・B	各2	3~4	
	現代社会と情報A・B	各2	3~4	*経済学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません	
	社会学部	身体論	2	1~4	
		スポーツ社会学	2	2~4	
		発達・教育の理論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		社会教育概論Ⅰ・Ⅱ (※注5)	各2	2~4	
		社会心理学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		広告・消費文化論	2	2~4	
		広告・PR論	2	2~4	
		メディア文化論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		メディア社会論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		マス・コミュニケーション論	2	2~4	
		環境社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4	
		地域社会学	2	2~4	
		コミュニティ形成論	2	2~4	
		日本経済論	2	2~4	
	国際経営論Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4		
	福祉社会学Ⅰ・Ⅱ	各2	2~4		
	現代福祉学部	企業と労働(旧:職業の世界) (※注6)	2	1~4	
		社会思想史(旧:社会思想史Ⅰ) (※注6)	2	1~4	
		日本人の心理特性と文化	2	1~4	
		教育学	2	1~4	
経営学		2	1~4		
老年学		2	1~4		
地域リハビリテーション		2	2~4		
NPO論(旧:非営利組織の運営) (※注6)		2	2~4		
地域ツーリズム		2	2~4		
コミュニティスポーツ		2	2~4		
地域経営論		2	2~4		
都市とコミュニティ		2	2~4		
多文化ソーシャルワーク		2	2~4		
コミュニティアート		2	2~4		
農山村とコミュニティ	2	2~4			
老いの文化と福祉(旧:高齢社会とコミュニティ) (※注6)	2	2~4			
コミュニティ心理学	2	2~4			
			*現代福祉学部のSSI生はSSI専門科目として履修できません(総合教育科目となります)		
			*現代福祉学部のSSI生を含めSSI生全員がSSI専門科目として履修できます		

<履修上の注意>

【SSI主催科目】

※注1 2014年度以前入学者は旧名称科目での履修となります。

※注2 2015年度以前入学者は旧名称科目での履修となります。

【法学部主催科目】

※注3 人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【キャリアデザイン学部主催科目】

※注4 2010年度以降に入学した人間環境学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【社会学部主催科目】

※注5 現代福祉学部のSSI生は、SSI科目として履修できません。

【現代福祉学部主催科目】

※注6 旧名称の科目を修得済みの者は新名称の科目を履修できません。

【その他共通事項】

※年度により、休講の科目もあります。休講科目はSSI時間割表で確認してください。

※履修登録科目を決める際は、所属学部の履修の手引き・講義概要をよく確認してください。

※旧科目を修得済の場合、現在開講している科目を履修できない場合があります。詳しくは主催学部の講義概要で確認してください。

※多摩キャンパス所属のSSI生は同曜日に多摩キャンパス開講科目と市ヶ谷開講科目を履修することはできません。詳しくは所属学部の履修要綱等で確認してください。

※スポーツ実習(各競技)Ⅰ～Ⅳは、2018年度をもって閉講しました。

SSI主催科目担当 専任教員一覧

氏名	所属学部
朝比奈 茂	人間環境学部
荒井 弘和	文学部
泉 重樹	スポーツ健康学部
伊藤 マモル	法学部
井上 尊寛	スポーツ健康学部
笠井 淳	経営学部
川田 尚弘	スポーツ健康学部
越部 清美	社会学部
鈴木 良則	法学部
杉本 龍勇	経済学部
瀬戸 宏明	スポーツ健康学部
中澤 史	国際文化学部
成田 道彦	スポーツ健康学部
林 容市	文学部
森嶋 琢真	スポーツ研究センター
山田 快	経済学部
吉田 康伸	経営学部

※当該年度に授業を担当しない教員も含まれます。

M E M O

M E M O

M E M O



学生証番号	
氏 名	

